

---

# 第2期かすみがうら市子ども・子育て支援事業計画 策定に係るニーズ調査 【基本集計報告書】

---

■目次■

I	ニーズ調査の実施概要	1
II	調査結果の概要	2
III	調査結果	6

平成31年3月



# I ニーズ調査の実施概要

## 1. 対象者

対 象	未就学児(0～5歳児)の保護者	就学児の保護者
人 数	無作為に 1,000 人を抽出	無作為に 1,000 人を抽出
実施方法	郵送による配布回収	小学校を通じて配布回収

## 2. 実施スケジュール

時 期		内 容
平成 31 年	1 月	<input type="checkbox"/> 未就学児：郵送により配布・回収（1月14日～1月31日） <input type="checkbox"/> 就学児：学校を通じて配布・回収（1月15日～1月31日） ※未就学児に対しては1月24日にお礼状・催促状発送
	2 月	<input type="checkbox"/> 集計・解析 <input type="checkbox"/> 基本集計結果に関する報告

## 3. 設問内容

第1期計画で実施した設問を基本に、国から示された追加項目及びかすみがうら市の独自項目を設定して作成した。

## 4. 回収数

	送付数	回収数	回収率
未就学児	1,000 通	529 通	52.9%
就学児	1,000 通	787 通	78.7%

## Ⅱ 調査結果の概要

### ■基本属性

- 回答者の約半数が、下稲吉地区、稲吉地区(住居表示地区)に居住。
- 約8割の回答者が、祖父母との同居・近居関係を有し、未就学児、就学児とも3割が同居している。祖父母は、子育て(教育)に日常的に関わっているケースも多い他、祖父母宅は、放課後過ごさせたい場所としても一定のニーズがある。

### ■子育て環境

- 子育ては、「父母ともに」行っているという回答が、未就学児、就学児とも半数を占めるが、「母親」という回答も、それぞれ3割程度を占め、子育てが母親中心となっている状況がうかがえる。子育て(教育)に日常的に関わっている人・施設としては、「父母ともに」、「母親」、「祖父母」が多いが、「母親」は、未就学児より就学児で高くなる。また、「祖父母」は未就学児、就学児とも一定の割合を占めている。「祖父母」は、身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、日常的あるいは緊急時等に子どもをみてもらえる存在となっている。
- お子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境としては、未就学児、就学児とも「家庭」が最も多いが、就学児では「地域」という回答が多くなる。

### ■子育てに関する相談

- 未就学児、就学児とも、子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人の有無については、「いる／ある」が多いものの、就学児では、やや「いない／ない」が増加する。相談先としては、「祖父母」が未就学児、就学児とも高く、次いで「友人や知人」となるが、「友人や知人」は、未就学児より就学児の方が多い。また、未就学児では、「保育士」や「かかりつけの医師」という回答もみられている。

### ■就労状況

#### 〔母親〕

- 未就学児、就学児とも約4割が「フルタイム」勤務。未就学児の母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が就学児よりも高く、出産・育児に伴い離職するケースがあると考えられる。
- 1週当たりの勤務日数の平均は、未就学児、就学児とも4.8日、勤務時間は未就学児で7.4時間、就学児で7.0時間。出勤時間は、就学児より未就学児の母親の方が、早く出勤し遅く帰宅する傾向がある。
- フルタイムへの転換希望は、未就学児、就学児とも1割程度で就学児の方がやや高い。このうち実現する見込みがあるという回答はごく少数。

#### 〔父親〕

- 未就学児、就学児とも約9割が「フルタイム」勤務。
- 1週当たりの就業日数、就業時間は、未就学児、就学児とも大きな差はないが、「母親」に比べ、就業日数で0.5日程度、就業時間で2時間程度、それぞれ多くなっている。出勤帰宅時間は「母親」に比べ、30分程度早く2時間程度遅い傾向。

## ■定期的な教育・保育の利用状況

- 未就学児の6割が、定期的に教育・保育事業を利用している。利用している事業は、「認可保育所(園)」と「認定子ども園」が多い。現在の利用状況は、1週当たり5日、1日8時間前後の利用が最も多く、利用時間は8時から16時が最も多い。希望については、保育開始がやや早く、終了時間がやや遅くなることを希望。また、これらの実施場所は、「かすみがうら市内」が半数で、このうち4割程度が「居住している小学校区内」となっている。
- 平日教育・保育事業を利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」で、就労だけでなく教育や発達面での動機も多い。一方、未利用の理由としては、「子どもがまだ小さいため」、「利用する必要がない」が多い。
- 満年齢毎に利用したい教育・保育事業としては、満0～2歳、満3～5歳とも、「認可保育所(園)」、「認定子ども園」が多い。これらは、満0～2歳よりも満3～5歳の方が多く、2歳までは家庭で子育てを行い、満3歳以降は教育・保育事業を利用するという傾向がある。

## ■地域子育て支援事業

- 子ども・子育てについての相談先となる「地域子育て支援拠点事業」、仕事と子育てを両立するための「時間外保育(延長保育)」、「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」のニーズが高い。
- 子育て短期支援事業及び子育て援助活動支援事業(F・S・C)については、未就学児、就学児とも「知っている」が3割程度、「利用したことがある」はごく少数となっている。未就学児で「今後利用したい」が、それぞれ3割程度ある。
- 今後、重点的な取り組みを期待するものについては、未就学児、就学児とも「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」が最も多い。「時間外保育(延長保育)」、「地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)」は未就学児で多い。

## ■かすみがうら市で充実が必要な子育て支援施策

- 夜間・休日等の医療サービス、必要な時に気軽に利用できる保育・預かりサービス、働き方の多様化に対応した子育て支援等の医療や保育・預かりに関するニーズが高い他、交通安全や犯罪防止に関する要望も見られる。

## ■放課後の過ごし方

- 放課後過ごさせたい場所は、未就学児、就学児とも「自宅」が最も多く、次いで「習い事」で、低学年よりも高学年になると更に多くなっている。「放課後児童クラブ(学童保育)」は、就学児よりも未就学児の方が多く、就学児でも高学年よりも低学年で多い傾向を示す。

## ■土曜日と日曜日・祝日、長期休暇中の放課後児童クラブのニーズ

- 土曜日及び日曜日・祝日では、土曜日の方がニーズが高い。長期休暇中のニーズとしては、未就学児で6割、就学児で5割程度が利用の必要があると回答している。

## ■育児休業について

- 育児休業については、父親が取得したケースは少ない。母親では、未就学児では「働いていなかった」が少なく、「取得した(取得中である)」が多い。就学児では「働いていなかった」が多くなっており、未就学児の母親の方が制度を利用している状況となっている。
- 育児休業を取得しなかった理由としては、母親では、未就学児、就学児とも「子育てや家事に専念するために退職した」が多く、父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、

制度を利用する必要がなかった」が多い。

- 一方で、母親、父親とも、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」という勤務先を原因とする理由や、「収入減となり、経済的に苦しくなる」という経済的理由も見られる。
- 制度の認知度については、就学児より未就学児の方が全体的に高くなっている。
- 職場への復帰時期については、「希望する保育所（園）に入るため」、「人事異動や業務の節目に合わせるため」が大きな動機となっている。
- 1歳になったときに必ず利用できる制度がある場合、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、未就学児で8割弱、就学児の回答者全員で「取得する」という結果となっている。

#### ■短時間勤務制度について

- 短時間勤務制度については、母親では、未就学児、就学児とも4割程度が利用しているが、就学児では「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」という理由も多い。利用しなかった理由については、勤務先を要因とするものの他、経済的理由が挙げられている。

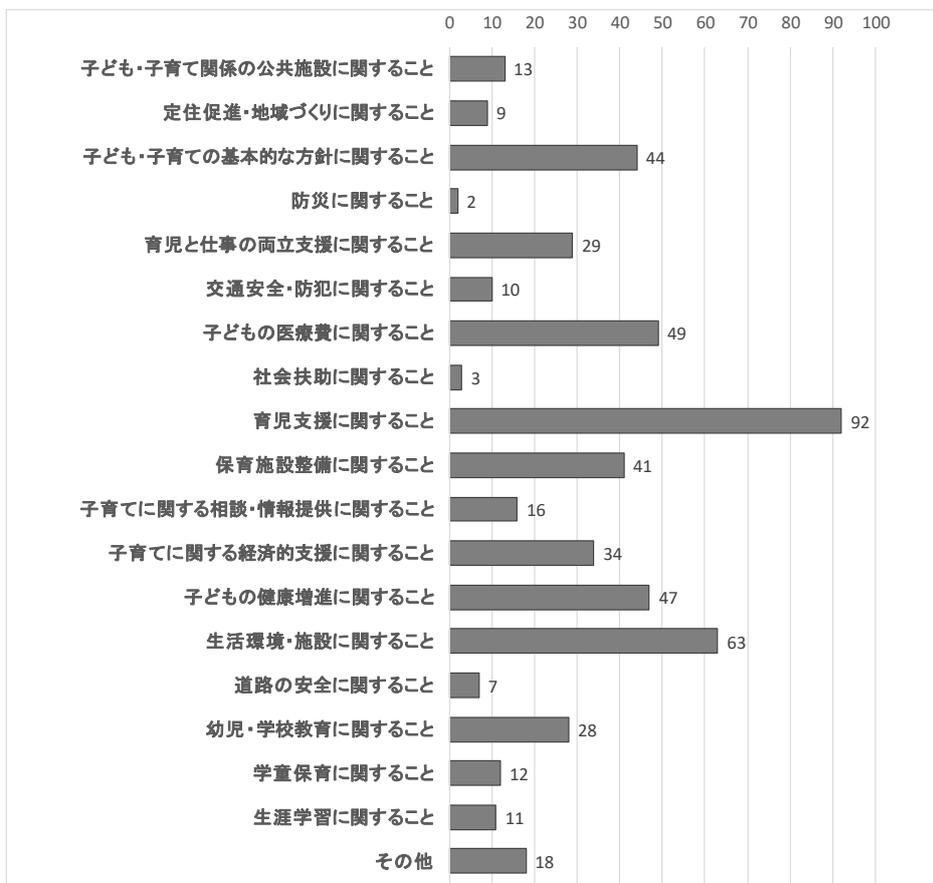
## (2) 自由意見の概要

### ①意見の要旨

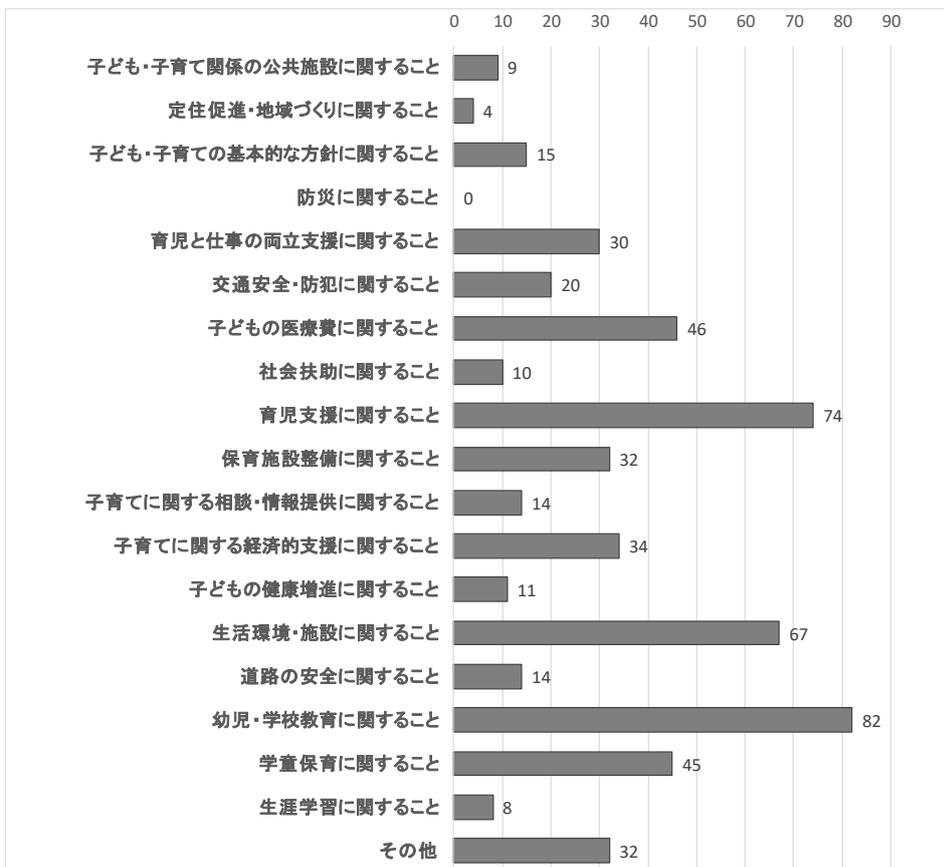
- 子育て支援については、施策・事業の内容、施策のわかりやすさ（情報提供）、サービスや対応の質・利用しやすさ、経済面での支援の充実等に関する意見が示されている。
- 子育てと就業の両立のため、保育時間や保育施設の場所が挙げられている。
- 学童保育については、総じてニーズが高く、預かる時間についての意見も示されている。
- 三世帯同居については、子育て上のメリットに関する意見がある一方で、施策が3世代を基本としており、核家族に優しくないという意見もあった。
- やまゆり館や児童館については、概ね高い評価を得られている。
- 小学校への通学距離、子育て関連の施設へのアクセス等についての意見が挙げられている。
- 千代田地区に比べ、霞ヶ浦地区での施設整備の遅れが指摘されている。また、集落部では施設へのアクセスのしづらさの他、同世代の子どもの少なさに関する意見もみられる。
- 公園整備についての要望が多く挙げられている。安心して子どもを遊ばせることができる施設としてのニーズが高い。
- 市外から転入してきた方が、地域との交流や保育サービス利用の際の行きづらさに関する意見が示されている。
- 医療施設（小児科等）、教育環境の充実に関する意見が挙げられている。
- 道路や防犯灯の整備といった、安全性確保に関する意見が挙げられている。
- 勤務先における育児休業、短時間勤務制度等に関する意見（利用上の課題等）、育児のための休暇への理解不足等も挙げられている。

## ②自由意見の分類

### ■未就学児



### ■就学児



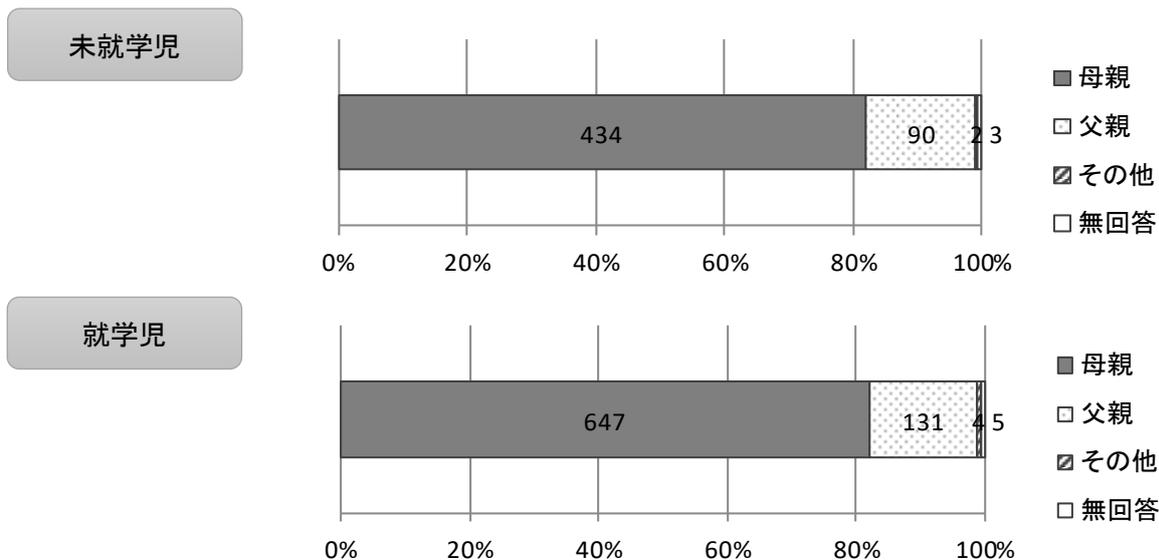
### Ⅲ 調査結果

※問1～3については、居住地、年齢等の設問のため掲載していません。

※設問番号については、未就学児の設問番号を基本としており、未就学児と就学児に共通する設問のうち、設問番号が異なるものは、就学児の設問番号を（ ）書きで記載しています。

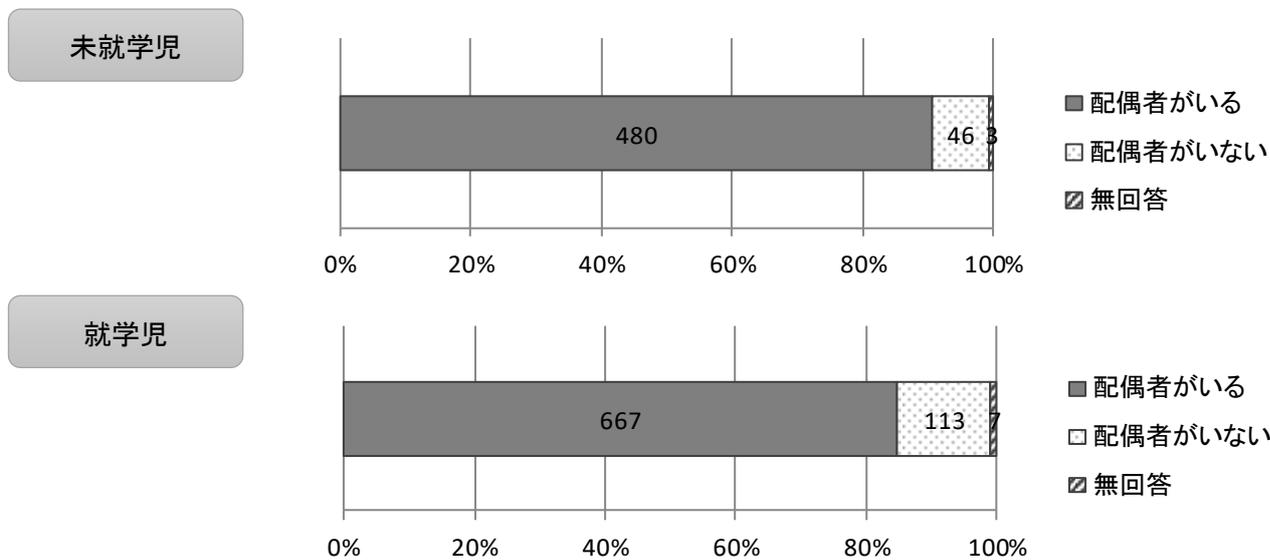
※表の構成比については、Excelで自動計算しているため、構成比の合計が100%と表示されている場合でも、計算すると100%にならない場合があります。

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



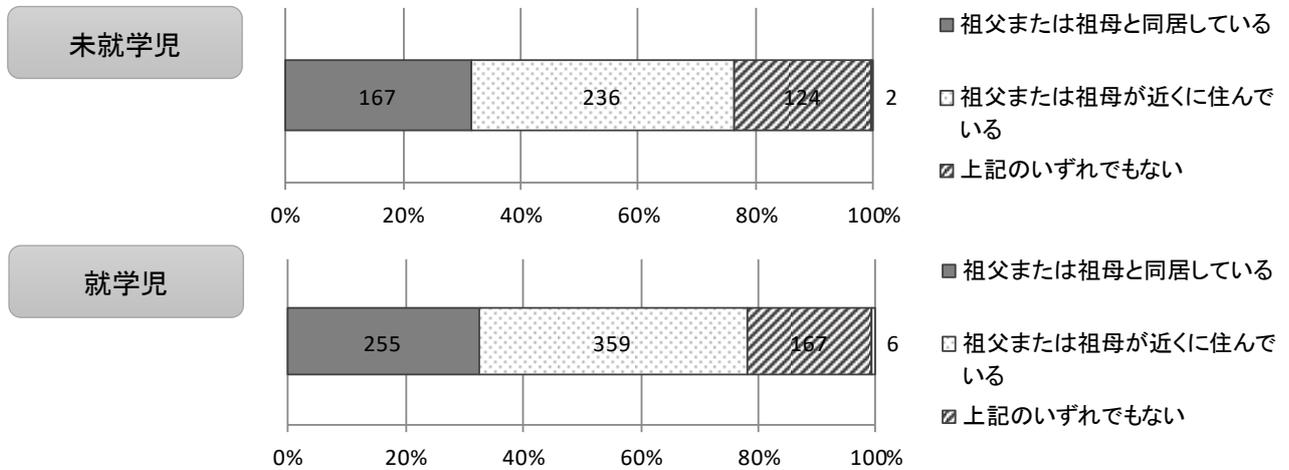
未就学児、就学児とも約8割が「母親」が回答している。

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



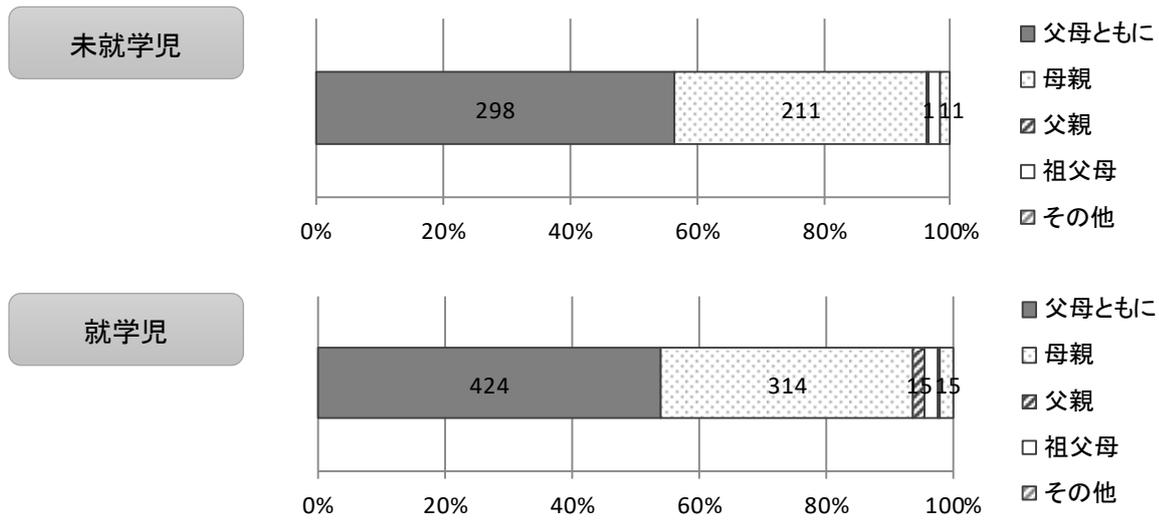
就学児の保護者は、未就学児の保護者に比べ、やや「配偶者がいない」割合が増加する。

問6 宛名のお子さんと祖父母との同居・近居（日常的に行き来できる程度の距離）の状況についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



未就学児、就学児とも、「祖父または祖母と同居している」が約3割、「祖父または祖母が近くに住んでいる」が約4割となっており、回答者の7割以上は、祖父または祖母との関わりが確保できる居住環境となっている。

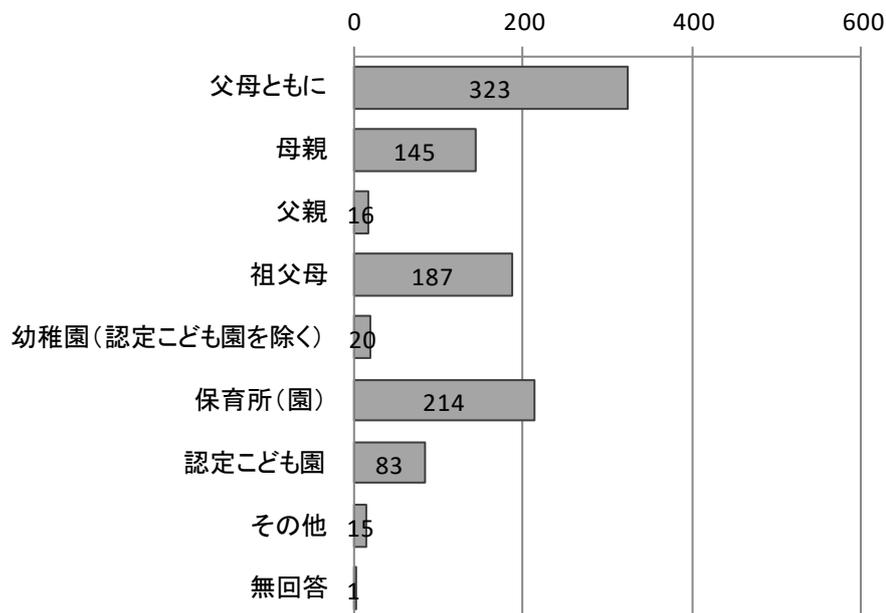
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



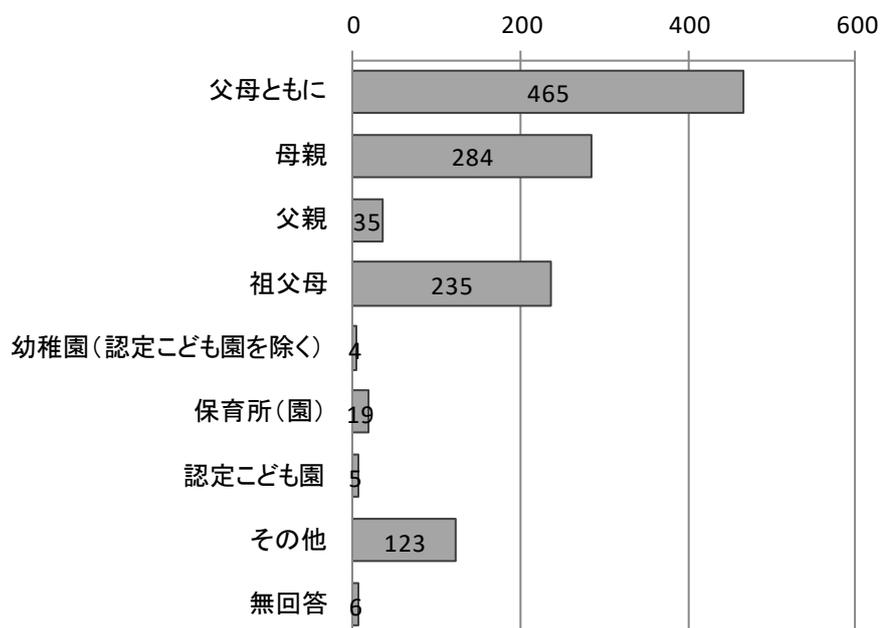
子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が約半数を占め、次いで「母親」となっている。

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。  
 お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

未就学児



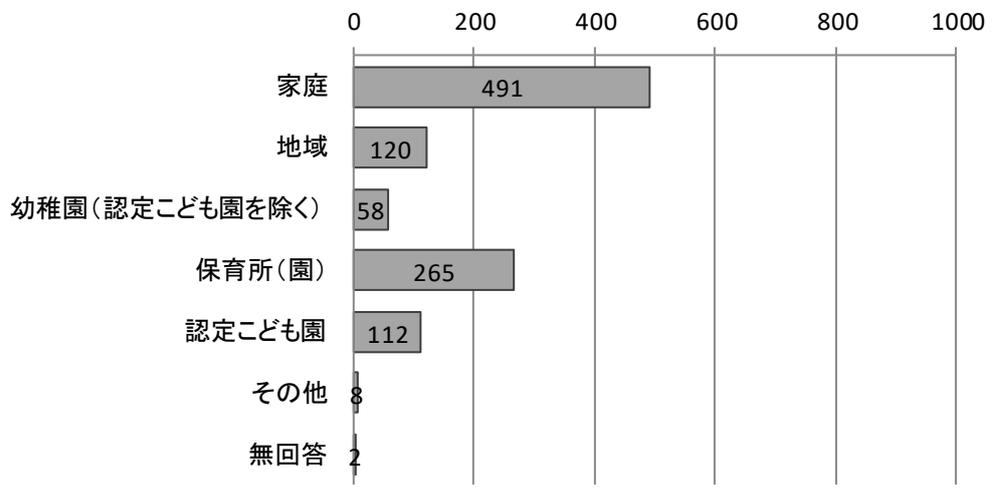
就学児



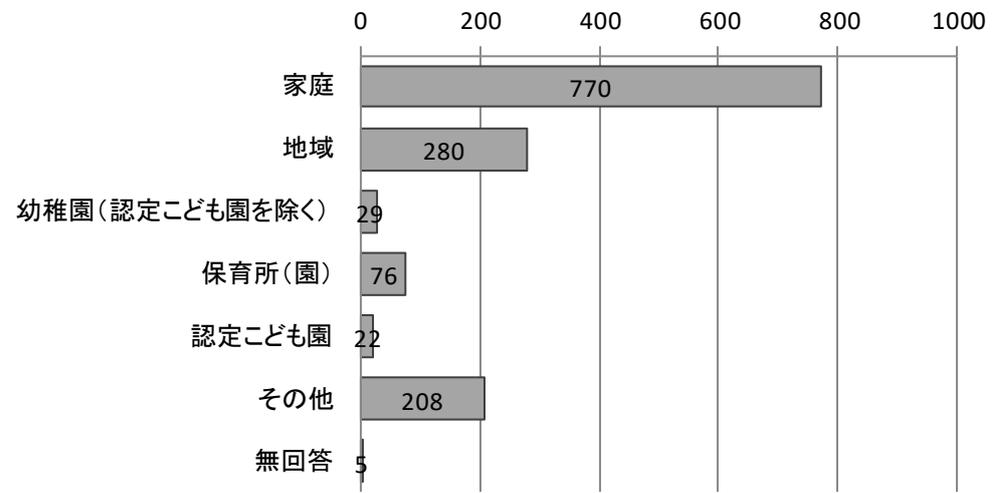
子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人・施設としては、未就学児、就学児とも「父母ともに」が最も多く、次いで母親となっている。「保育所（園）」は未就学児では母親に次いで多くなっている。「祖父母」は、未就学児、就学児とも多くなっているが、未就学児では「母親」よりも多く関わっている。一方で「父親」は、未就学児、就学児とも少なくなっている。

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

未就学児



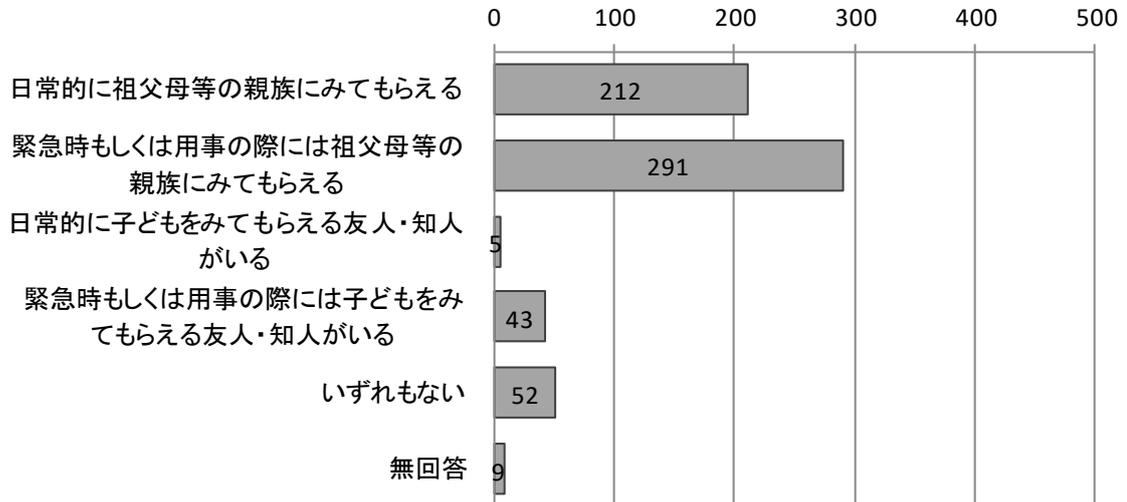
就学児



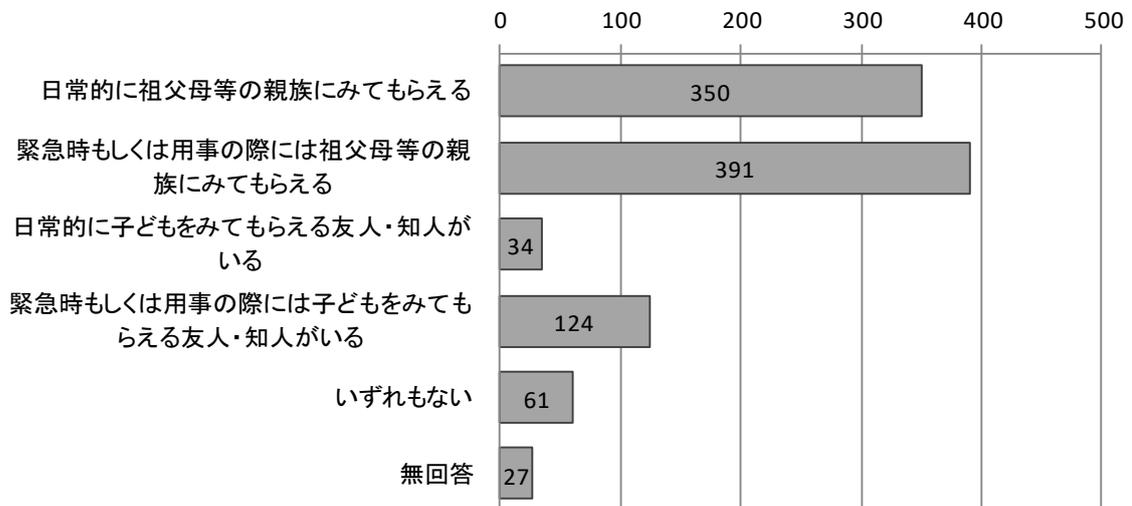
未就学児、就学児とも「家庭」が最も多い。就学児になると、「地域」が増加しており、学校や子供会などを通じた関わりが増加すると考えられる。

問 10 A欄 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。A欄の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

未就学児



就学児

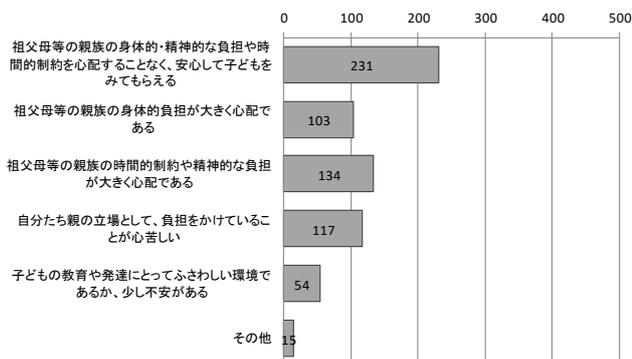


未就学児、就学児とも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が多く、祖父母等の親族が重要な役割を担っているといえる。また、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は、未就学児よりも就学児で多くなっている。

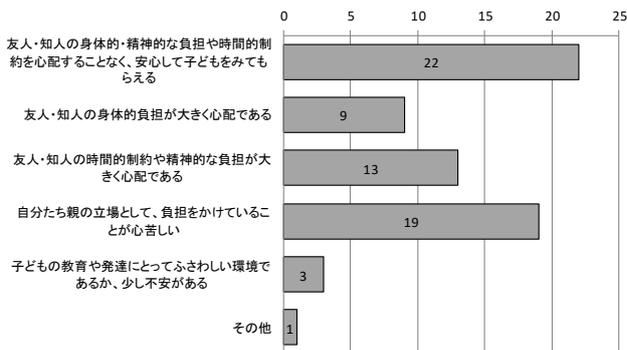
問 10 B欄 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。みてもらうことに関する状況についてB欄から選び、当てはまる記号すべてに○をつけてください。

### 未就学児

#### 親族

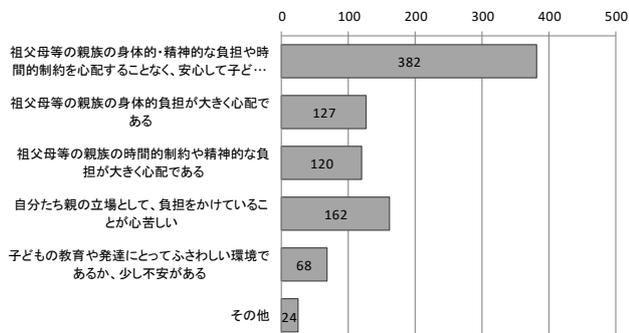


#### 知人

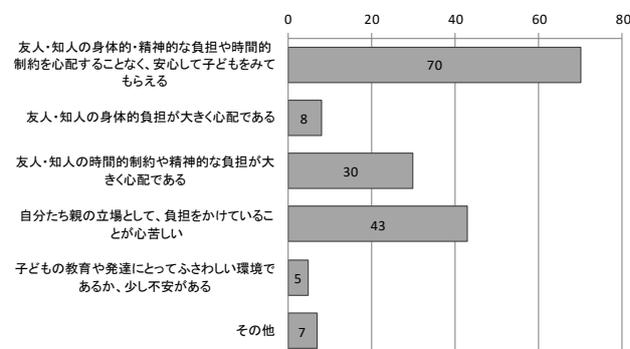


### 就学児

#### 親族



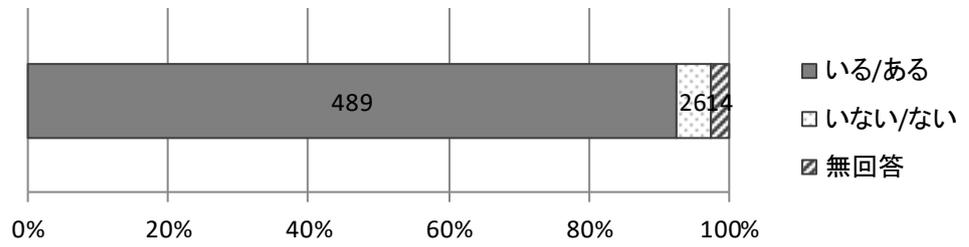
#### 知人



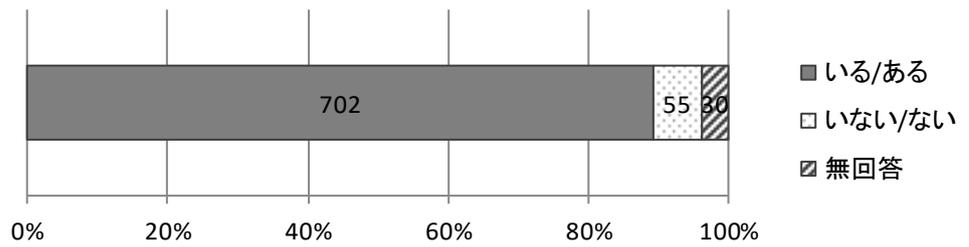
未就学児、就学児とも、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が多い。一方、知人についてみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多くなっているが、親族に比べ、負担をかけていることを懸念する傾向がある。

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

未就学児



就学児



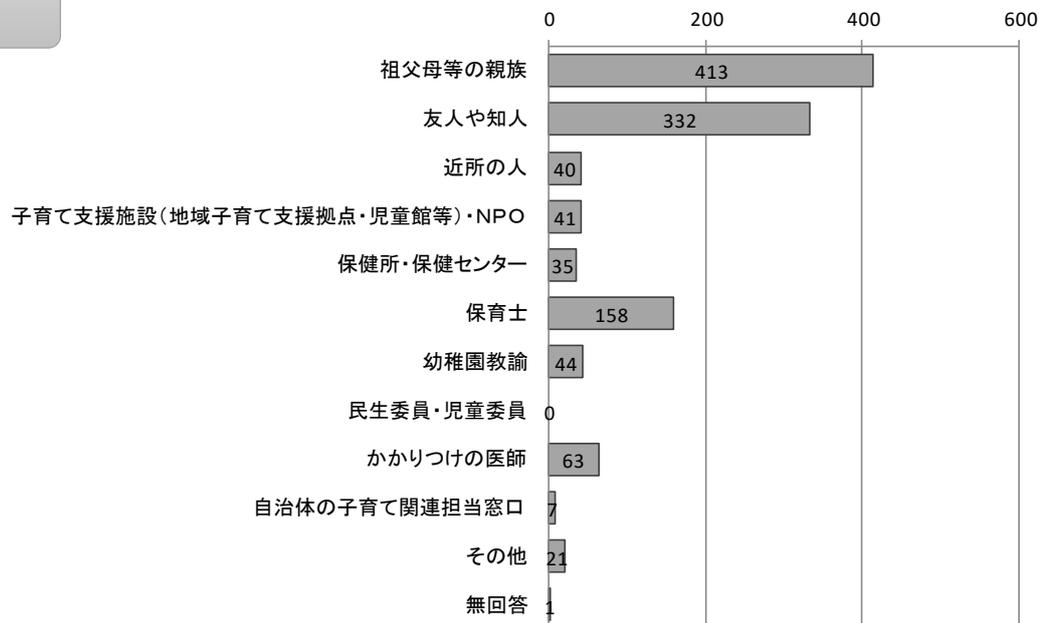
未就学児、就学児とも、「いる／ある」が多いものの、就学児では、やや「いない／ない」が増加している。

問 11-1 問 11 で「1. いる／ある」と回答した方にうかがいます。

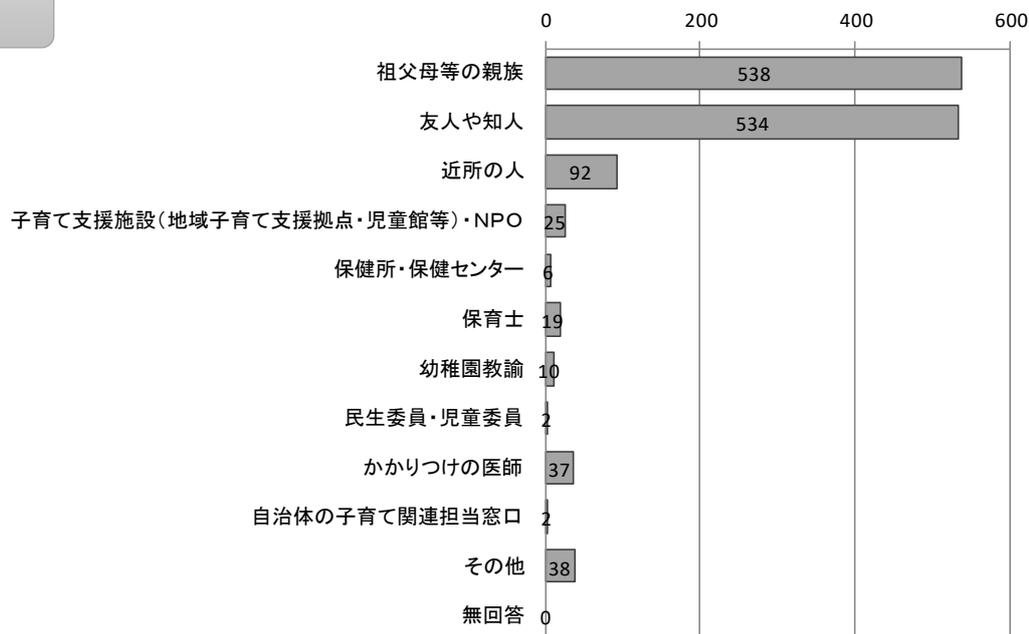
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

### 未就学児



### 就学児



未就学児、就学児とも「祖父母等の親族」が最も多くなっている。次いで「友人や知人」が多いが、未就学児よりも就学児で多くなっている。また、未就学児では「保育士」、「かかりつけの医師」も多いほか、「子育て支援施設」、「保健所・保健センター」などの公的機関が多くなっている。

問 12 問 11 で「2. いない／ない」と回答した方にうかがいます。

子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

## ■未就学児

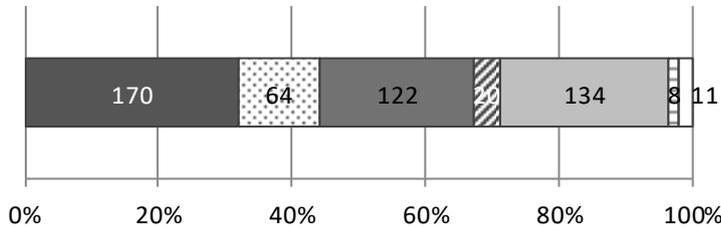
NO.	回 答
26	子育て支援施設が有料で、車でしか行けないため、利用しづらい。近くに公園がなく、子供を遊ばせるのに安心できる場所がない。育休中でも、体調不良で子供を預けたい時があり、その際に利用できる施設を知らない。保活の際、市のHPをよく利用したが、分かりにくい。市内の施設の情報が整理されたページがあると良かった。市の窓口で、保活について相談に行った際、担当者の説明が分かりにくかった。保育を必要としているのに、実家同居と伝えたと対応が冷たく、預けるためにどうしたら良いか聞いても、「前例がない」「どう判断されるか分からない」などとあいまいな答えだった。
36	仕事のときに子供を見てもらえる施設があればいい。できれば24Hで、いつでも預かってもらえるところ。両親が仕事をするのが難しい。
43	今は大変でも後で楽になるからとか、他のお母さんもみんな大変だからと片付けずにきちんと聞いてほしい。また車が普段ないのに車で行かないといけないような所でしか保健師などもないので、手軽には利用できない。
157	母親がいないため、私は毎日の仕事で夜の帰りが遅いから子供との話し合いがなく、子供の気持ちなど聞いてあげる時間がない。
179	市などのイベントなどで、情報を得たりできているので、これからも何かあれば参加していこうと思っています。
195	役所に相談とまではいかなくとも、メールなどでベテランママ等に話を聞きたい。知り合いに言うのは恥ずかしいこともある。
217	気軽にという視点からすると、匿名でも親同士でやりとりできるホームページなどのコーナーみたいなのがあったらいい。
280	公園や施設が近所がないので困っている。少しはなれた公園はトラックが路上駐車しており、危険。工場の排ガスが心配で外で遊ばせるのがためられる。上記の対応が欲しい。
290	困りごとや愚痴レベルの話を聞いてくれるような何かがあると助かる。体調不良等の際、電話一本で子供を見てもらえるようなもの。
331	安心して遊びながら学べるような場所があり、子育てについて相談にのってくれる保健師さんなどがある市の施設があったらいい。
360	・短時間(2～3時間もしくは1日)子どもを見てもらえるようなサポート(レスパイトケアのようなイメージ)が欲しい。 ・24時間もしくは夜間でも子育てに関する問題(医療面以外)を相談できる場所が欲しい。 ・離乳食作り教室があると良いと考える。
409	定期的に連絡を頂けるような、心開ける人
412	土・日とか就労している人も利用できる、気軽に相談できる施設(子育て支援センター内とかに)
428	より親切的な対応、助言
431	地域で子供が参加できるイベント・行事を積極的に開いて頂きたい。そこで地域のお子さんを持つ家族の方々と交流が持てる様にしたい。
438	就労しなくても保育園を利用できるといい。自分の住む地域には幼稚園がないので。

■就学児

NO.	回 答
36	・ADHDなどハッキリとした診断名がないが、極めてグレー(またはグレーに近い)の症状がある子どもについて、うしろめたい気持ちを持たずに相談できるスポットやコミュニティがあるとよい。 ・学童保育や保育園の開所時間以外で子どもを預かってくれる施設。(夜間や祝日など)
60	子供のことは市も気にかけるが、同居している嫁のことは誰も気にかけてはくれない。
62	特に思い浮かばない。
78	相談事などを紙に書く等して学校等で回収してくれて、それを相談員さんが読んで回答をしてくれたり、個別に面談して話を聞いてくれたらよいと思う。現在も月に1回くらい学校に相談できる人が来てくれる日があるが、仕事で行けないので。
172	どんなことでも気軽に相談できる状況を作っていただければと思います。
191	通院や通学等の交通手段がない。
268	もう手がかからなくなったので今は大丈夫ですが、7~8年前まではすごく大変でした。もう少し早く相談できれば何か…当時は誰も(親)もいなかったの
274	特に相談しない。本人の希望を優先している。
276	心配する事柄もなく、問題がないので相談したいと思ったことがない。
350	いない。自分で必要な人(相談できる人)をさがす。
390	もっと気軽に助けてと言える身近さがほしい。
405	市役所または、学校に相談窓口があったら良いと思います。
418	それすら分からない。
440	児童クラブに行っている子だけでなく、急に子供を預ける事が出来る様になったら助かります。(親の介護や自分の通院等で子供の帰宅時間までに帰れないこともあり、困っている。)
442	メール等で返信など出来るようなシステムがあると相談しやすい。
577	誰にどんな内容を相談したらいいのか良く分からない。もっと分かりやすくなってほしいなと思う。
635	特に問題なし
732	安心して見てもらえる環境
742	現在は特に相談することがないので不自由してない。行政より職場の同僚の方が様々な情報を得られている現状。
746	基本的に家庭での教育が大切だと考えているので、周囲からのサポート等についてあまり考えたことはありません。
752	・夜間でも相談できる窓口があると良い。・母子家庭だけの相談窓口があると良い。
777	身近に相談するというより、子供の周囲や子育てに関するアンケートですが、特にないです。教育で子供に関する事は分からなかったり、質問などがあつたら学校に聞きますし、学校は学問だけでなく長く子どもがいる場所なので、学校が責任を以って見守る場所ではないかと思っています。病気などの場合は医療などで分からない場合はとことん聞きます。

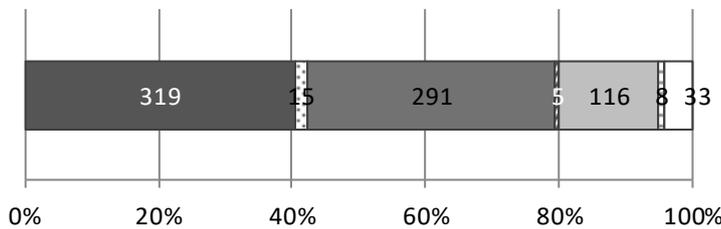
問 13 現在の就労状況（自営業・家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。【母親】

未就学児



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

就学児



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

未就学児、就学児とも約4割が「フルタイム」勤務であり、産休・育休・介護休業中である割合は未就学児の母親で高くなっている。また、未就学児の母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が就学児よりも高くなっている。

問 13-1 問 13 で「1. ～ 4.」（就労している）と回答した方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

未就学児

日	回答数	構成比
1日	2	0.5%
2日	3	0.8%
3日	18	4.8%
4日	50	13.3%
5日	263	69.9%
6日	30	8.0%
7日	2	0.5%
無回答	8	2.1%
合計	376	100.0%
平均	4.8	—

時間	回答数	構成比
1時間	0	0.0%
2時間	1	0.3%
3時間	3	0.8%
4時間	17	4.5%
5時間	33	8.8%
6時間	57	15.2%
7時間	51	13.6%
8時間	144	38.3%
9時間	27	7.2%
10時間	23	6.1%
11時間	2	0.5%
12時間	8	2.1%
13時間以上	2	0.5%
無回答	8	2.1%
合計	376	100.0%
平均	7.4	—

就学児

日	回答数	構成比
1日	1	0.2%
2日	3	0.5%
3日	37	5.9%
4日	96	15.2%
5日	407	64.6%
6日	68	10.8%
7日	2	0.3%
無回答	16	2.5%
合計	630	100.0%
平均	4.8	—

時間	回答数	構成比
1時間	1	0.2%
2時間	1	0.2%
3時間	14	2.2%
4時間	41	6.5%
5時間	90	14.3%
6時間	94	14.9%
7時間	70	11.1%
8時間	214	34.0%
9時間	37	5.9%
10時間	38	6.0%
11時間	3	0.5%
12時間	7	1.1%
13時間	1	0.2%
14時間	1	0.2%
15時間以上	2	0.3%
無回答	16	2.5%
合計	630	100.0%
平均	7.0	—

1 週当たりの就労日数は、未就学児、就学児とも、「5日」が最も多く平均が 4.8 日となっている。なお、「5日」という回答は、未就学児で 69.9%、就学児で 64.6%であり、就学児の母親の方が「5日」よりも少ない就労日数の割合が高い。また、1 週当たりの 1 日の就労時間の平均は、未就学児で 7.4 時間、就学児で 7.0 時間で就学児の母親の方がやや短くなっている。

問 13-2 問 13 で「1. ～4.」（就労している）と回答した方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

未就学児

出発時間	回答	構成比
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	4	1.1%
7時	106	28.2%
8時	193	51.3%
9時	46	12.2%
10時	6	1.6%
11時	1	0.3%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	1	0.3%
15時	1	0.3%
16時以降	2	0.5%
無回答	16	4.3%
合計	376	100.0%
平均	7.9	—

帰宅時間	回答	構成比
午前中	5	1.3%
12時	0	0.0%
13時	3	0.8%
14時	13	3.5%
15時	19	5.1%
16時	37	9.8%
17時	57	15.2%
18時	136	36.2%
19時	61	16.2%
20時	22	5.9%
21時	4	1.1%
22時以降	3	0.8%
無回答	16	4.3%
合計	376	100.0%
平均	17.5	—

就学児

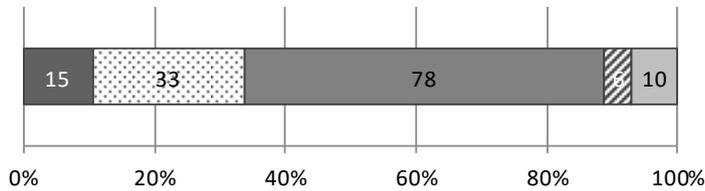
出発時間	回答	構成比
3時	2	0.3%
4時	0	0.0%
5時	3	0.5%
6時	7	1.1%
7時	138	21.9%
8時	345	54.8%
9時	88	14.0%
10時	13	2.1%
11時	1	0.2%
12時	4	0.6%
13時	5	0.8%
14時	0	0.0%
15時	2	0.3%
16時	1	0.2%
17時	1	0.2%
18時以降	3	0.5%
無回答	17	2.7%
合計	630	100.0%
平均	8.1	—

帰宅時間	回答	構成比
午前中	4	0.6%
12時	9	1.4%
13時	11	1.7%
14時	29	4.6%
15時	53	8.4%
16時	86	13.7%
17時	96	15.2%
18時	186	29.5%
19時	95	15.1%
20時	25	4.0%
21時	7	1.1%
22時	5	0.8%
23時	1	0.2%
24時	1	0.2%
25時以降	5	0.8%
無回答	17	2.7%
合計	630	100.0%
平均	17.3	—

出発時間は、未就学児、就学児とも「8時」が最多となっているが、「7時」は未就学児の方がやや多くなっている。帰宅時間は、未就学児、就学児とも「18時」が多い。未就学児の方が「18時」の割合が高く、就学児では未就学児に比べ分散する傾向となっている。出発時間は、就学児の母親よりも未就学児の母親の方がやや早い傾向を示している。また、帰宅時間も、就学児の母親よりも未就学児の母親の方がやや遅い傾向を示している。

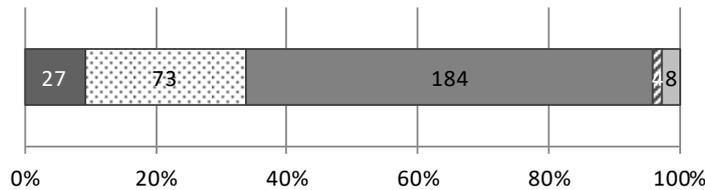
問 13-3 問 13 で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

未就学児



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- ▨パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

就学児

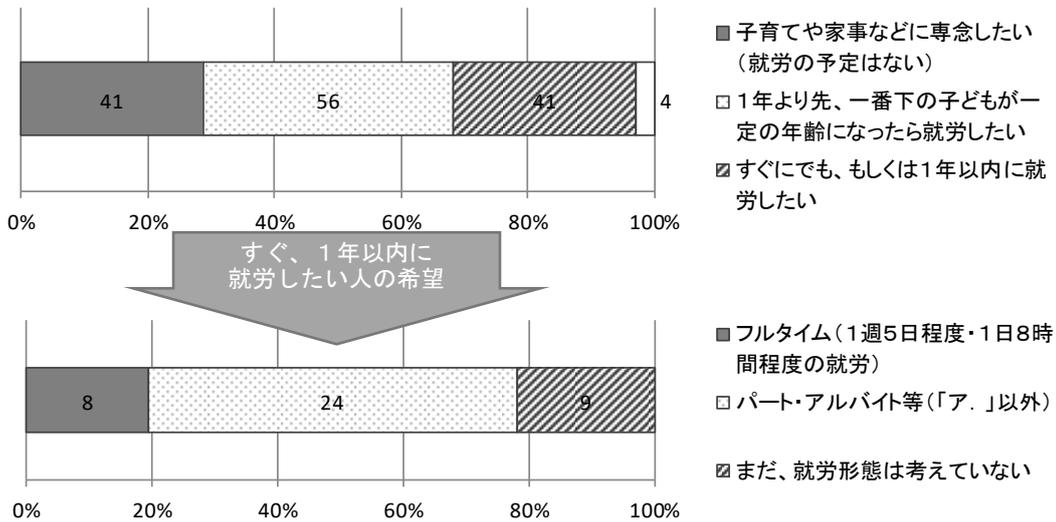


- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- ▨パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

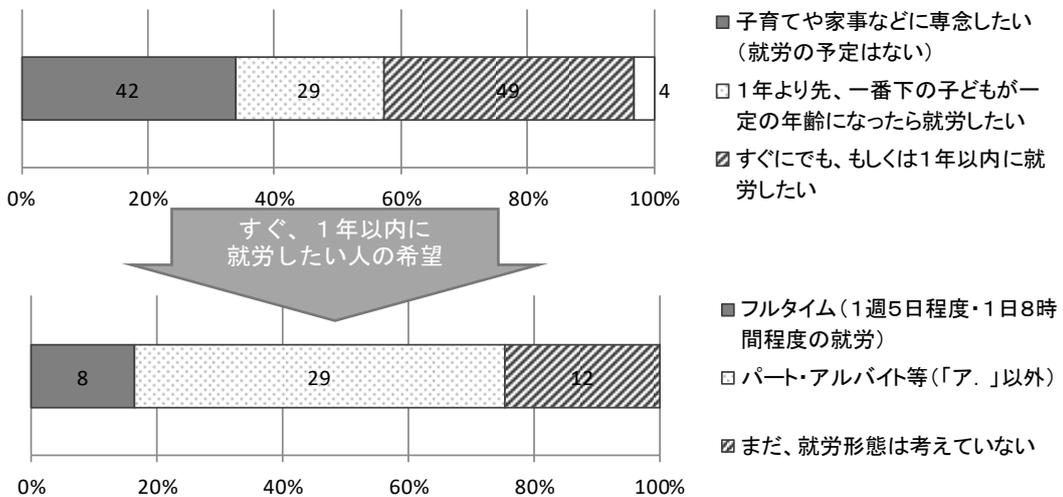
未就学児、就学児とも、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が最も多く、フルタイムへの転換希望は、回答者(無回答を除く)の半数以下となっている。

問 13-4 問 13 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

### 未就学児



### 就学児

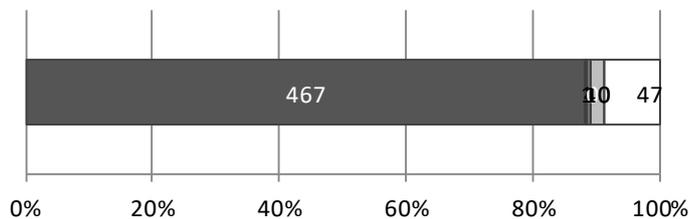


未就学児の母親では、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったら就労したい」が最も多くなっている。「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方が希望する就労形態は「パート・アルバイト等」が半数以上となっている。就学児の母親では、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多いが、希望する就労形態については、未就学児と同様に「パート・アルバイト等」が半数以上となっている。

また、「子育てや家事などに専念したい」は、未就学児、就学児とも3割程度となっており、就学児でやや高い結果となっている。

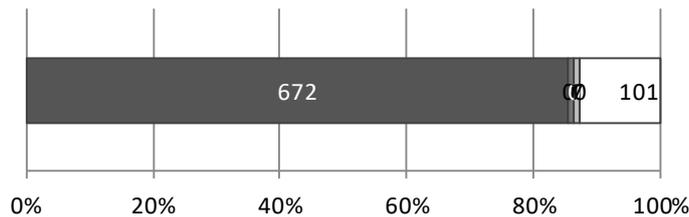
問 14 現在の就労状況（自営業・家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。【父親】

未就学児



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

就学児



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

未就学児、就学児とも約9割が「フルタイム」勤務となっている。

問 14-1 問 14 で「1. ～ 4.」（就労している）と回答した方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

未就学児

日	回答数	構成比
1日	1	0.2%
2日	0	0.0%
3日	4	0.8%
4日	6	1.3%
5日	301	63.8%
6日	145	30.7%
7日	8	1.7%
無回答	7	1.5%
合計	472	100.0%
平均	5.3	—

時間	回答数	構成比
5時間	2	0.4%
6時間	2	0.4%
7時間	4	0.8%
8時間	148	31.4%
9時間	66	14.0%
10時間	125	26.5%
11時間	38	8.1%
12時間	51	10.8%
13時間	8	1.7%
14時間	6	1.3%
15時間	1	0.2%
16時間	5	1.1%
17時間	2	0.4%
18時間	0	0.0%
19時間	0	0.0%
20時間	0	0.0%
21時間	0	0.0%
22時間	0	0.0%
23時間	0	0.0%
24時間	3	0.6%
25時間以上	1	0.2%
無回答	10	2.1%
合計	472	100.0%
平均	9.8	—

就学児

日	回答数	構成比
1日	1	0.1%
2日	0	0.0%
3日	5	0.7%
4日	6	0.9%
5日	444	65.4%
6日	185	27.2%
7日	21	3.1%
無回答	17	2.5%
合計	679	100.0%
平均	5.3	—

時間	回答数	構成比
3時間	1	0.1%
4時間	0	0.0%
5時間	1	0.1%
6時間	2	0.3%
7時間	7	1.0%
8時間	234	34.5%
9時間	115	16.9%
10時間	155	22.8%
11時間	36	5.3%
12時間	66	9.7%
13時間	22	3.2%
14時間	7	1.0%
15時間	4	0.6%
16時間	4	0.6%
17時間	1	0.1%
18時間	0	0.0%
19時間	0	0.0%
20時間	0	0.0%
21時間	0	0.0%
22時間	0	0.0%
23時間	0	0.0%
24時間	2	0.3%
25時間以上	0	0.0%
無回答	22	3.2%
合計	679	100.0%
平均	9.6	—

1 週当たりの就労日数は、未就学児、就学児とも、「5日」が最も多く平均が 5.3 日で、母親に比べ 0.5 日多くなっている。また、1 週当たりの 1 日の就労時間の平均は、未就学児で 9.8 時間、就学児で 9.6 時間で、就学児の父親の方がやや短くなっているものの、母親に比べるといずれも 2 時間程度多くなっている。

問 14-2 問 14 で「1. ～4.」（就労している）と回答した方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

### 未就学児

出発時間	回答	構成比
0～4時	8	1.7%
5時	17	3.6%
6時	63	13.3%
7時	201	42.6%
8時	132	28.0%
9時	15	3.2%
10時	1	0.2%
11時	3	0.6%
12時	4	0.8%
13時	2	0.4%
14時	2	0.4%
15時	1	0.2%
16時以降	7	1.5%
無回答	16	3.4%
合計	472	100.0%
平均	7.4	—

帰宅時間	回答	構成比
午前中	5	1.1%
12時	2	0.4%
13時	0	0.0%
14時	1	0.2%
15時	3	0.6%
16時	6	1.3%
17時	21	4.4%
18時	79	16.7%
19時	111	23.5%
20時	89	18.9%
21時	75	15.9%
22時	39	8.3%
23時	6	1.3%
24時	7	1.5%
25時以降	12	2.5%
無回答	16	3.4%
合計	472	100.0%
平均	19.8	—

### 就学児

出発時間	回答	構成比
2時	2	0.3%
3時	4	0.6%
4時	11	1.6%
5時	23	3.4%
6時	116	17.1%
7時	297	43.7%
8時	156	23.0%
9時	22	3.2%
10時	3	0.4%
11時	1	0.1%
12時	2	0.3%
13時	2	0.3%
14時	2	0.3%
15時	3	0.4%
16時	1	0.1%
17時	2	0.3%
18時	3	0.4%
19時	1	0.1%
20時以降	2	0.3%
無回答	26	3.8%
合計	679	100.0%
平均	7.2	1.1%

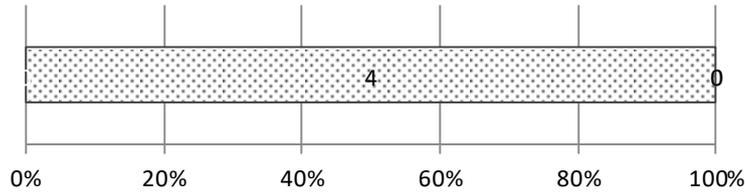
帰宅時間	回答	構成比
7時	1	0.1%
8時	0	0.0%
9時	0	0.0%
10時	0	0.0%
11時	0	0.0%
12時	1	0.1%
13時	3	0.4%
14時	1	0.1%
15時	4	0.6%
16時	10	1.5%
17時	34	5.0%
18時	131	19.3%
19時	169	24.9%
20時	130	19.1%
21時	79	11.6%
22時	47	6.9%
23時	15	2.2%
24時	7	1.0%
25時以降	20	2.9%
無回答	27	4.0%
合計	679	100.0%
平均	19.7	—

出発時間は、未就学児、就学児とも「8時」が最多となっているが、「7時」は未就学児の方がやや多くなっている。

帰宅時間は、未就学児、就学児とも「18時」が多い。未就学児の方が「18時」の割合が高く、就学児では未就学児に比べ分散する傾向となっている。

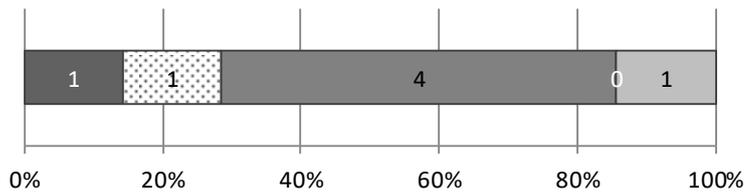
問 14-3 問 14 で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

未就学児



- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

就学児



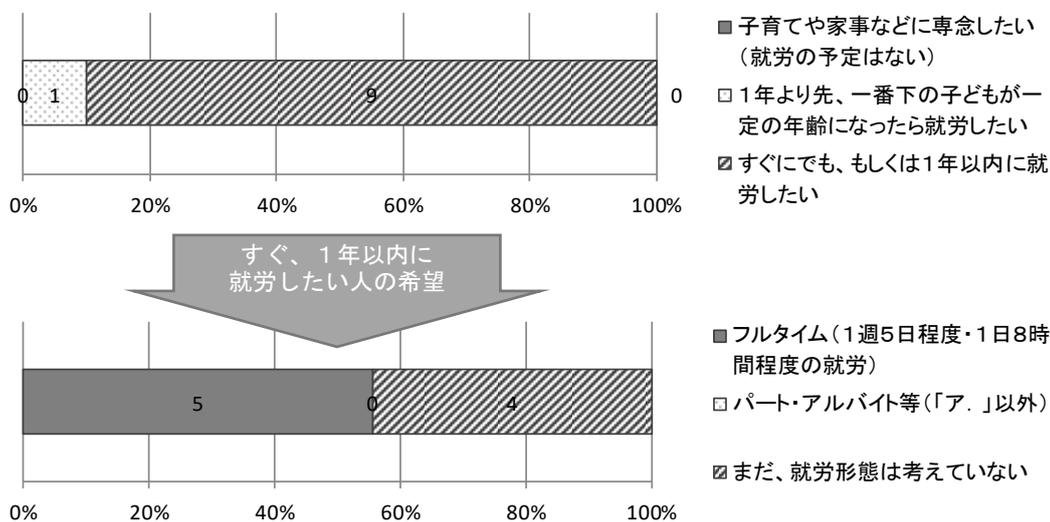
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

未就学児で回答があった方は、全て「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答している。

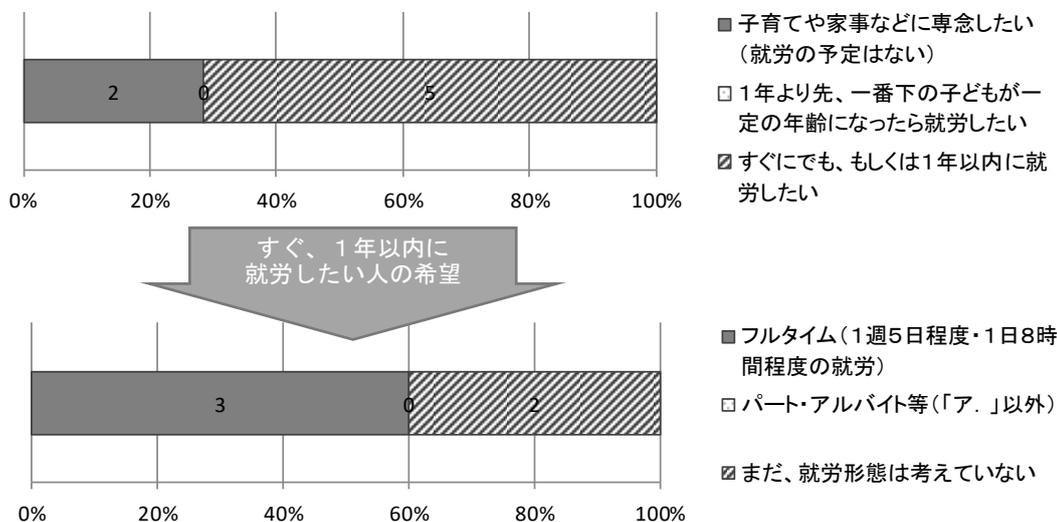
就学児では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が多くなっている。

問 14-4 問 14 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

### 未就学児

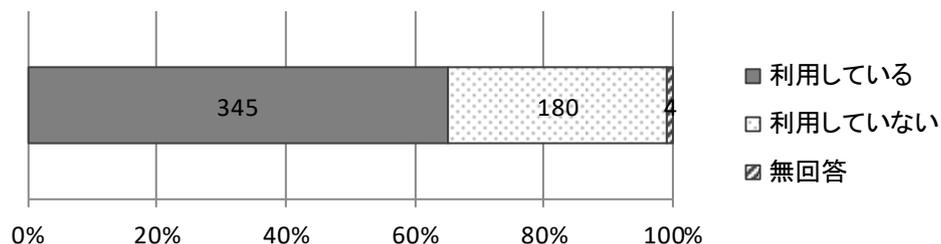


### 就学児



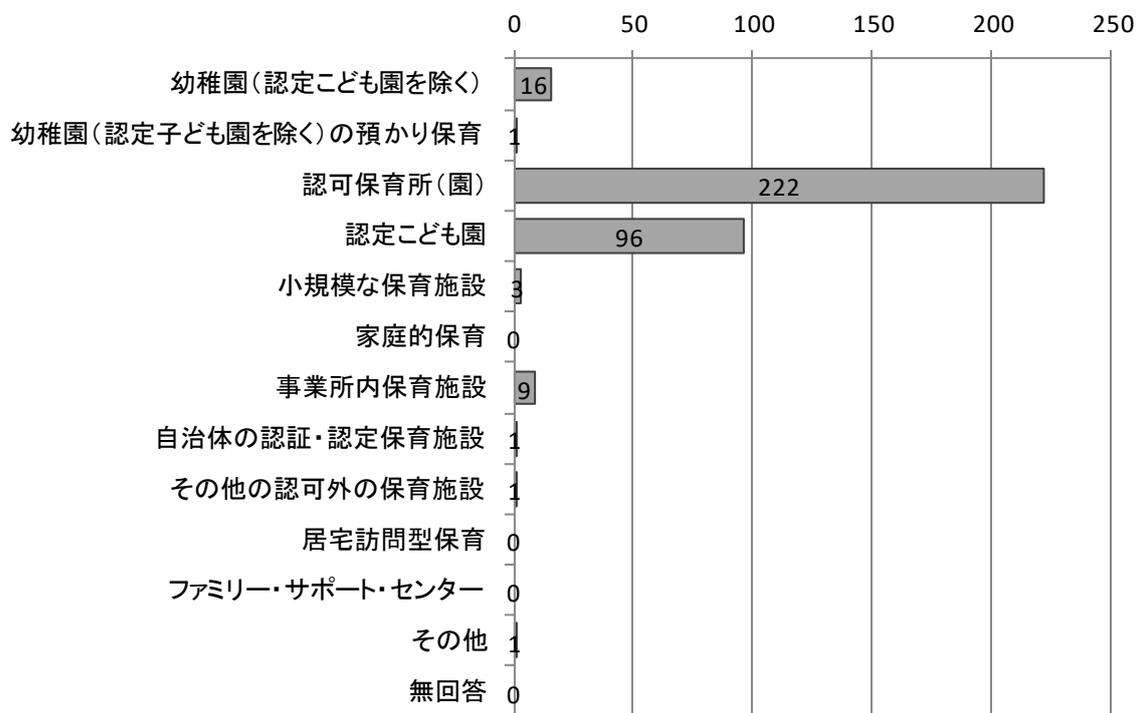
回答のあった未就学児、就学児の父親とも、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く、就労形態としては、フルタイムだけでなくパート・アルバイトを希望する回答もある。また、就学児で「子育てや家事などに専念したい」という回答もみられる。

問 15 宛名のお子さんは現在、認定こども園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



「定期的な教育・保育の事業」を利用する未就学児は約6割となっている。

問 15-1 問 15 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



平日利用している教育・保育事業は、「認可保育所（園）」が最も多く、次いで「認定子ども園」となっている。

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字でご記入ください。

**【現在】**

〔日数・時間〕

日	回答	構成比
1日	2	0.6%
2日	4	1.2%
3日	3	0.9%
4日	6	1.7%
5日	301	87.2%
6日	24	7.0%
7日	0	0.0%
無回答	5	1.4%
合計	345	100.0%
平均	5.0	—

時間	回答	構成比
1時間	0	0.0%
2時間	1	0.3%
3時間	0	0.0%
4時間	1	0.3%
5時間	16	4.6%
6時間	45	13.0%
7時間	64	18.6%
8時間	69	20.0%
9時間	64	18.6%
10時間	45	13.0%
11時間	27	7.8%
12時間	5	1.4%
13時間	0	0.0%
14時間	0	0.0%
15時間	0	0.0%
16時間	0	0.0%
17時間	0	0.0%
18時間	0	0.0%
無回答	8	2.3%
合計	345	100.0%
平均	8.1	—

〔保育開始・終了時間〕

開始

時間	回答	構成比
6時	0	0.0%
7時	36	10.4%
8時	151	43.8%
9時	139	40.3%
10時	14	4.1%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
無回答	5	1.4%
合計	345	100.0%
平均	8.4	—

終了

時間	回答	構成比
12時	1	0.3%
13時	1	0.3%
14時	12	3.5%
15時	50	14.5%
16時	103	29.9%
17時	85	24.6%
18時	73	21.2%
19時	15	4.3%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
無回答	5	1.4%
合計	345	100.0%
平均	16.6	—

現在の平日利用している教育・保育事業の利用頻度は、1週当たり「5日」が最も多く、回答者の88.6%となっている。また、時間については「8時間」が最も多く、平均利用時間は「8.1時間」となっている。

保育開始時間については、「8時」と「9時」がほぼ同程度で、平均は「8.4時」となっている。終了時間は「16時」が29.9%、「17時」が24.8%で、平均は「16.6時」となっている。

## 【希望】

### 〔日数・時間〕

日	回答	構成比
1日	1	0.3%
2日	1	0.3%
3日	1	0.3%
4日	6	1.7%
5日	208	60.3%
6日	34	9.9%
7日	2	0.6%
無回答	92	26.7%
合計	345	100.0%
平均	5.1	-

時間	回答	構成比
1時間	0	0.0%
2時間	0	0.0%
3時間	0	0.0%
4時間	1	0.3%
5時間	3	0.9%
6時間	29	8.4%
7時間	40	11.6%
8時間	62	18.0%
9時間	48	13.9%
10時間	36	10.4%
11時間	21	6.1%
12時間	14	4.1%
13時間	1	0.3%
14時間	0	0.0%
15時間	0	0.0%
16時間	0	0.0%
17時間	0	0.0%
18時間	0	0.0%
無回答	90	26.1%
合計	345	100.0%
平均	8.5	-

### 〔保育開始・終了時間〕

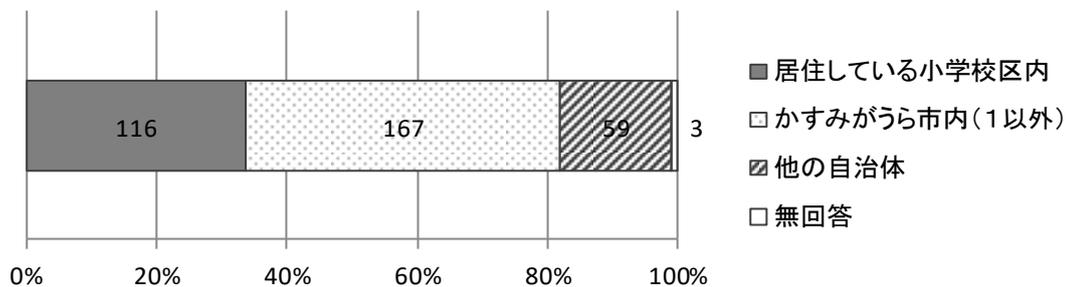
時間	回答	構成比
6時	1	0.3%
7時	34	9.9%
8時	109	31.6%
9時	100	29.0%
10時	11	3.2%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
無回答	90	26.1%
合計	345	100.0%
平均	8.3	-

時間	回答	構成比
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	2	0.6%
15時	27	7.8%
16時	67	19.4%
17時	73	21.2%
18時	61	17.7%
19時	24	7.0%
20時	1	0.3%
21時	0	0.0%
無回答	90	26.1%
合計	345	100.0%
平均	16.9	-

平日利用している教育・保育事業の利用頻度の希望については、1週当たり「5日」が最も多いが、現在に比べ「6日」の割合が高くなる。また、時間については「8時間」が最も多いが、平均利用時間は「8.5時間」と、現在の利用に比べやや長くなっている。

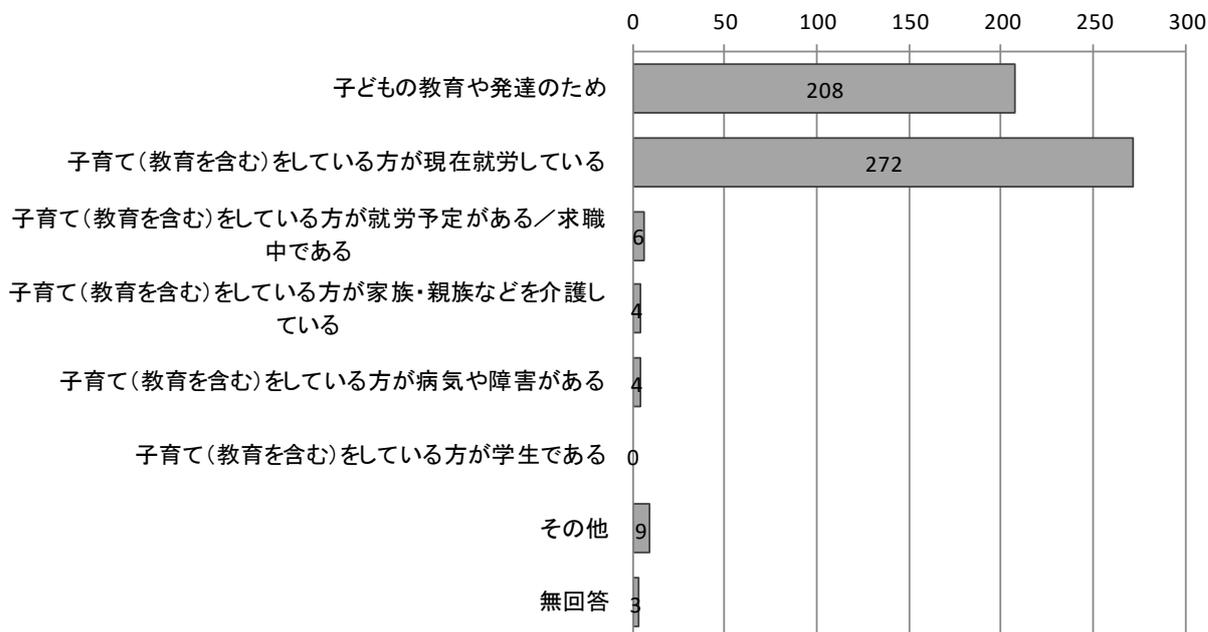
保育開始時間については、「8時」と「9時」がほぼ同程度で、平均は「8.3時」となっている。終了時間は「17時」が最も多くなり、平均は「16.9時」と、現在の利用に比べやや遅くなっている。

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。



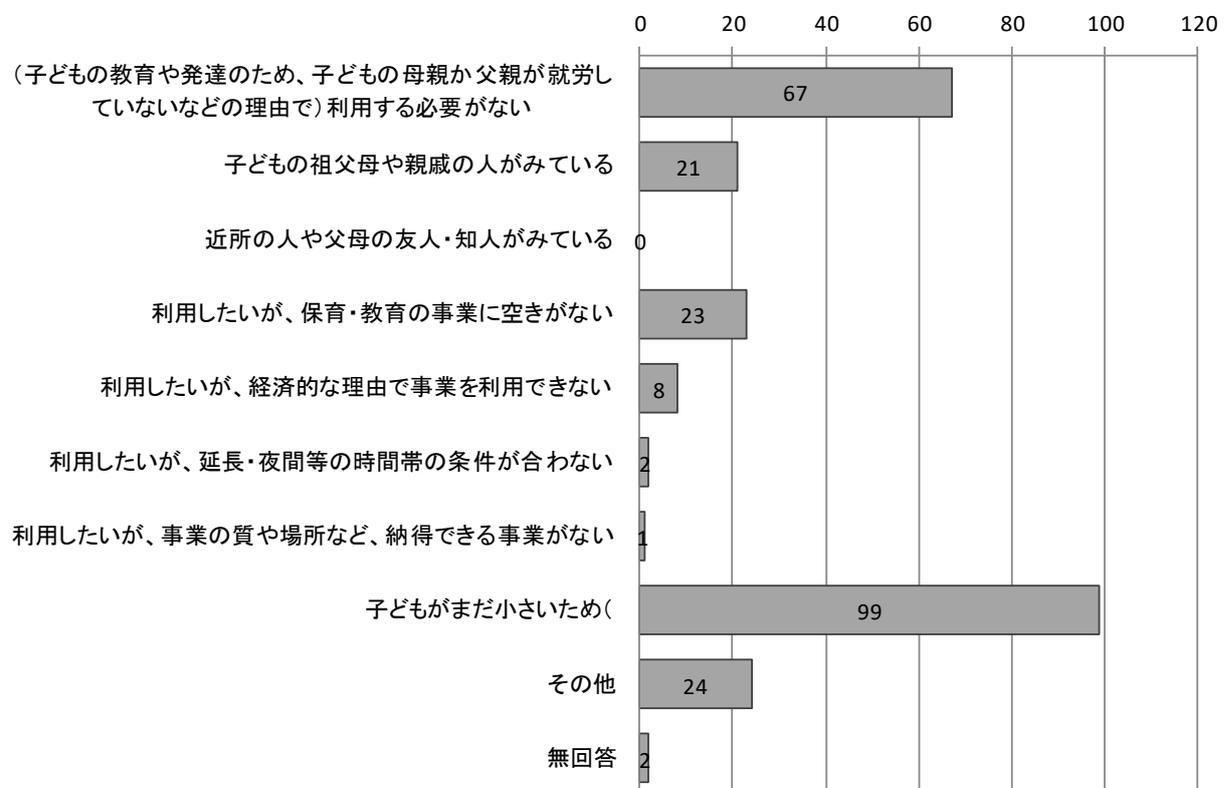
利用している教育・保育事業の実施場所は、回答者の8割が「かすみがうら市内」であり、回答者の3割は「居住している小学校区内」を利用している。

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



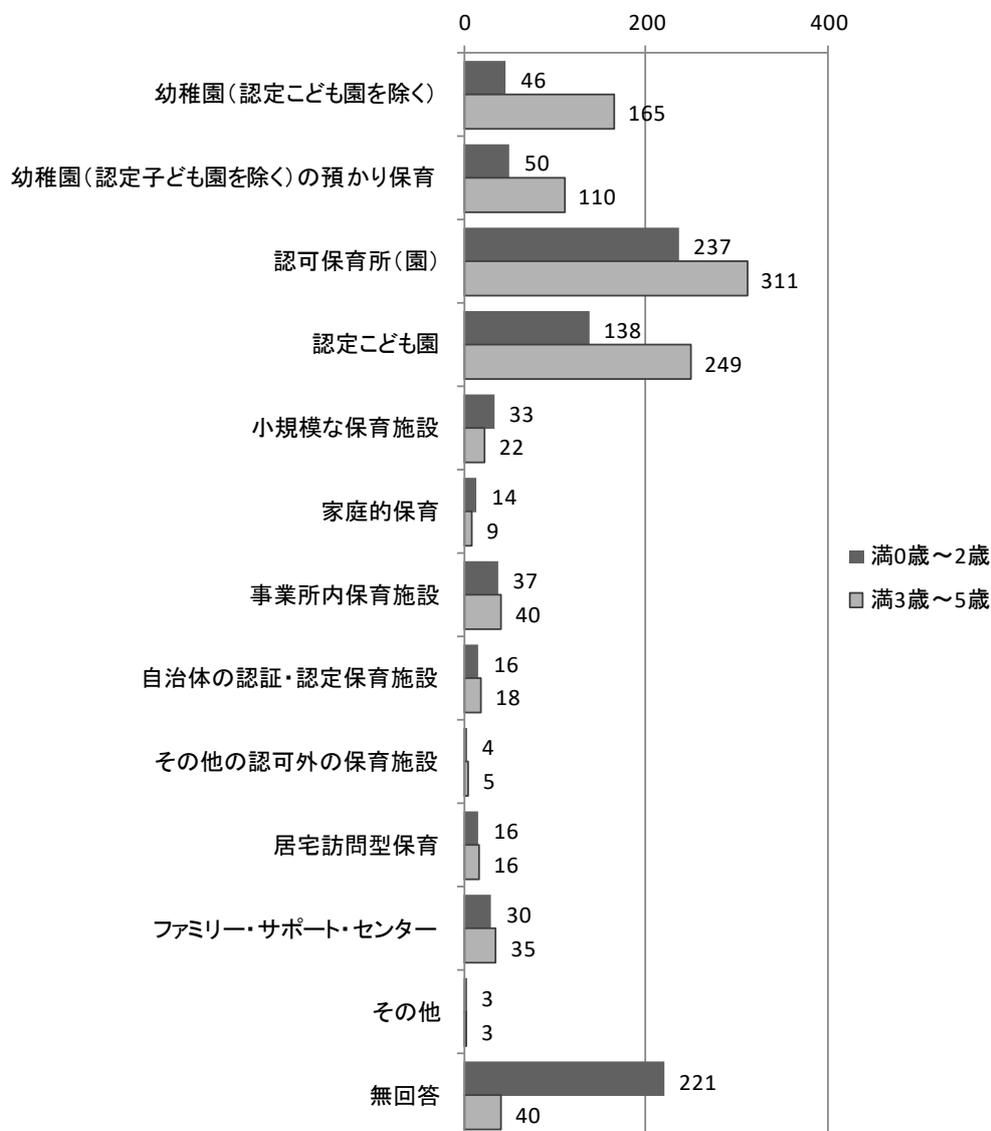
利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」となっている。

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」と回答した方にかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。



利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が最も多く、次いで、教育や発達のため、あるいは両親のいずれかが就労しておらず「利用する必要がない」となっている。

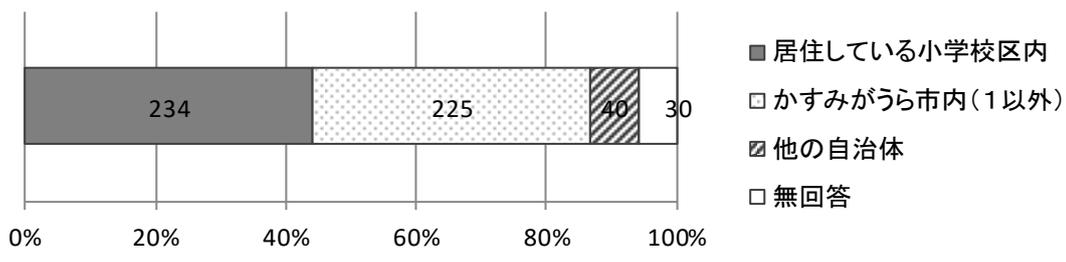
問 16 すべての方にうかがいます。「平日の教育・保育の事業」が定期的に利用できるとした場合、宛名のお子さんが、今後、回答欄の年齢に達したときに利用したいと思う教育・保育の事業すべてに○をご記入ください。



満0～2歳では、「認可保育所(園)」が最も多く、次いで「認定子ども園」となっている。満3～5歳でも「認可保育所(園)」が最も多く、次いで「認定子ども園」が多いが、いずれも満0～2歳よりも多くなっている。また、満3～5歳では、「幼稚園(認定子ども園を除く)」や「幼稚園(認定子ども園を除く)の預かり保育」といった、幼稚園に対するニーズが増加する。

一方、「事業者内の保育施設」や「ファミリー・サポート・センター」は、満3～5歳でやや多くなる傾向を示し、「小規模な保育施設」は、満0～2歳で多くなっている。

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

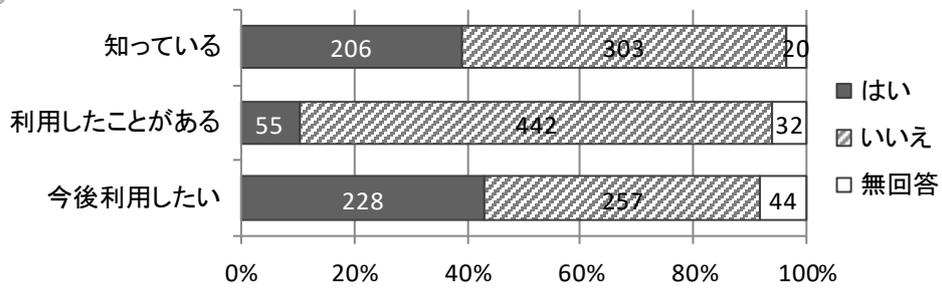


利用したい教育・保育事業の場所については、「かすみがうら市内」、「居住している小学校区内」が多くなっている。

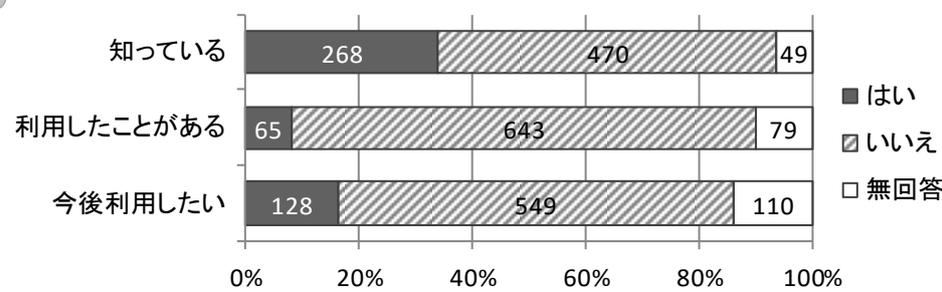
問 17 (問 15) かすみがうら市で実施している「地域子育て支援事業」について、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。また、①～⑦の事業で、重点的に取り組みを期待するものについて○をご記入ください。

①利用者支援事業

未就学児



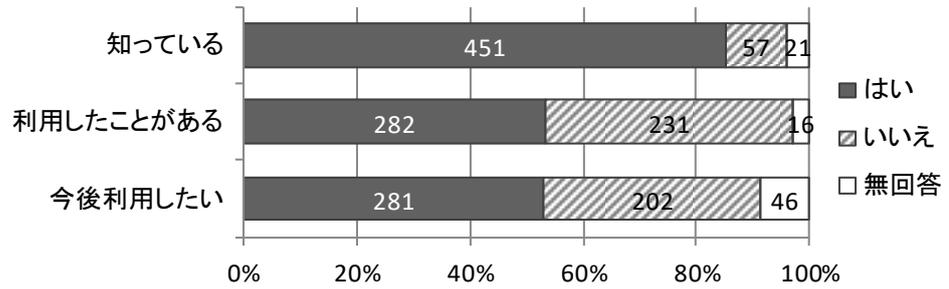
就学児



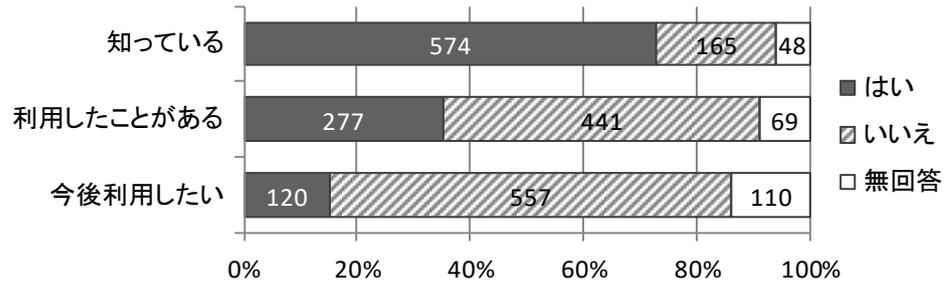
利用者支援事業については、「知っている」は、未就学児、就学児とも半数以下で、「利用したことがある」は1割程度となっている。「今後利用したい」も、半数以下であるが、未就学児では約4割程度と高くなっている。

②地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

未就学児



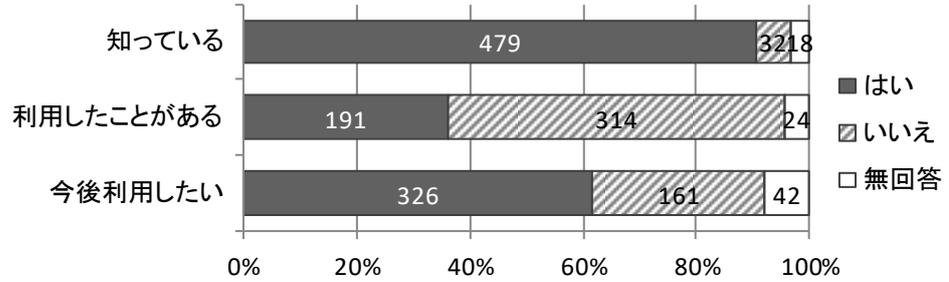
就学児



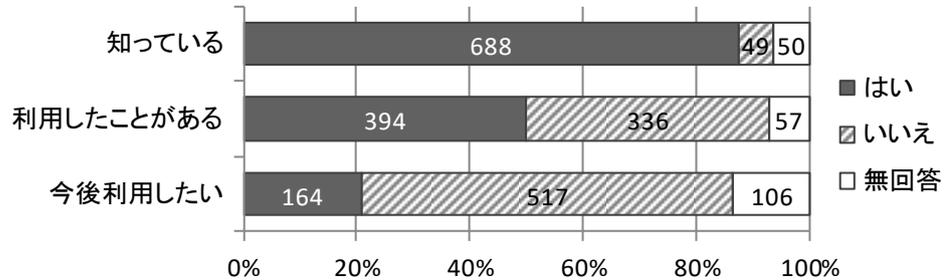
地域子育て支援事業については、「知っている」は、未就学児で8割超、就学児で7割程度を示し、事業の認知度が高い。「利用したことがある」、「今後利用したい」は、未就学児で高く約半数となっている。

③時間外保育（延長保育）

未就学児



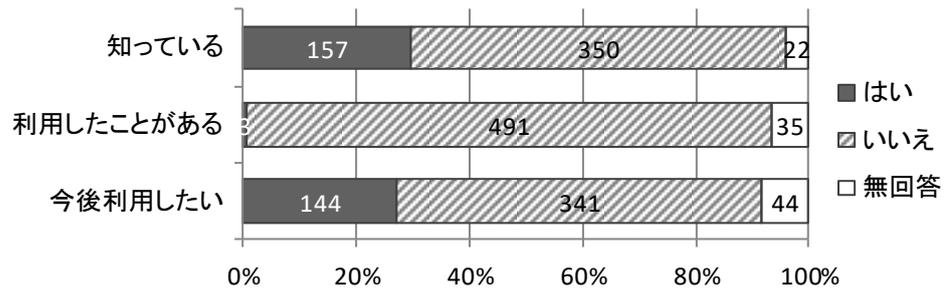
就学児



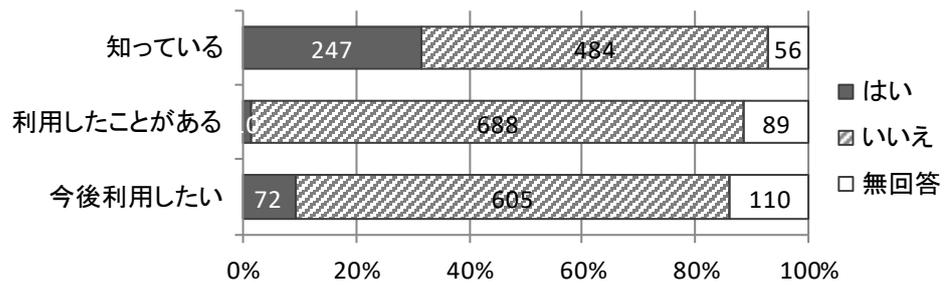
時間外保育(延長保育)については、「知っている」は、未就学児、就学児とも9割程度を示し、事業の認知度が高い。「利用したことがある」は、就学児の方が高く、回答者の約半数が利用経験を有している。また、「今後利用したい」は、未就学児で高く約6割を示している。

④子育て短期支援事業

未就学児



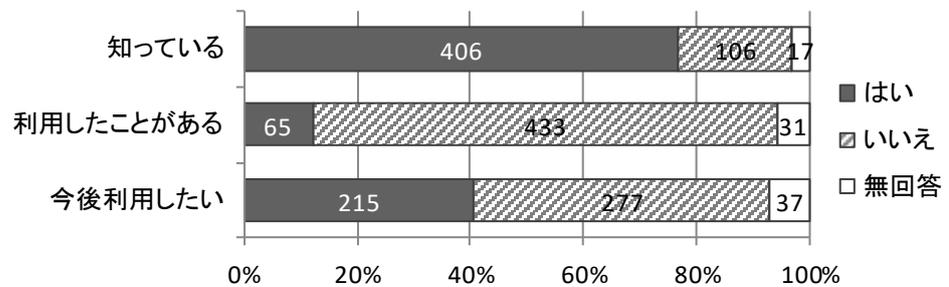
就学児



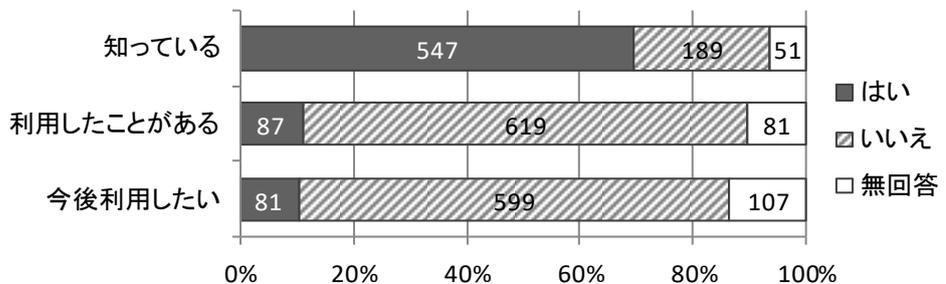
子育て短期支援事業については、「知っている」は、未就学児、就学児とも半数以下で、「利用したことがある」は非常に少なくなっている。「今後利用したい」も、半数以下であるが、未就学児では約3割程度と高くなっている。

⑤一時預かり事業

未就学児

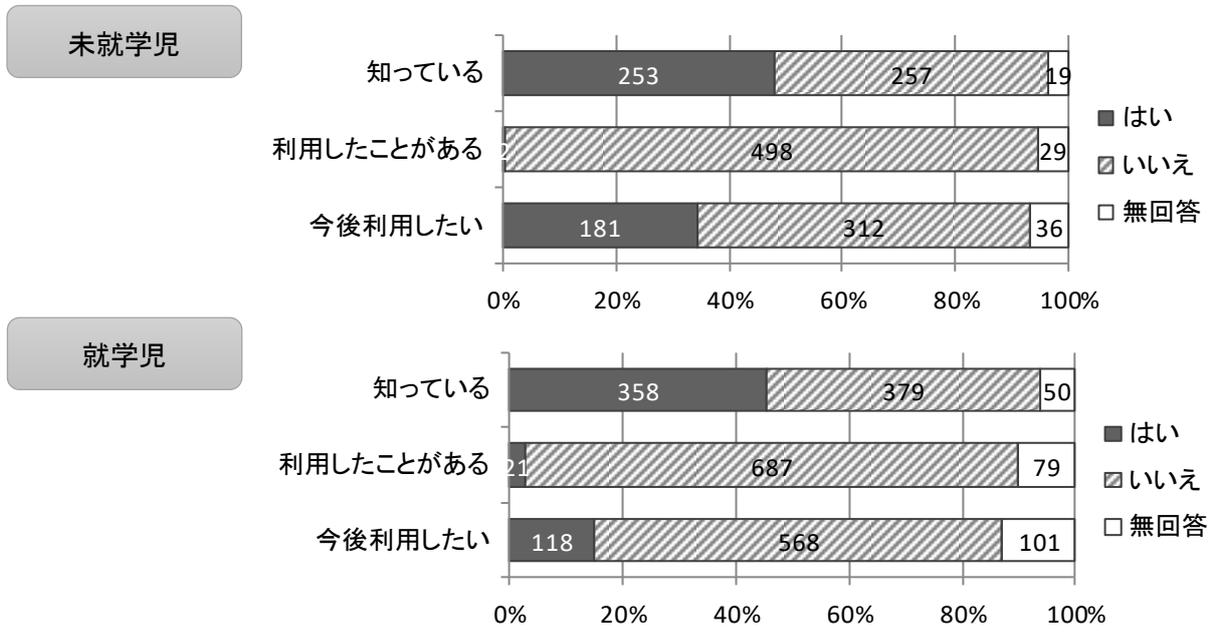


就学児



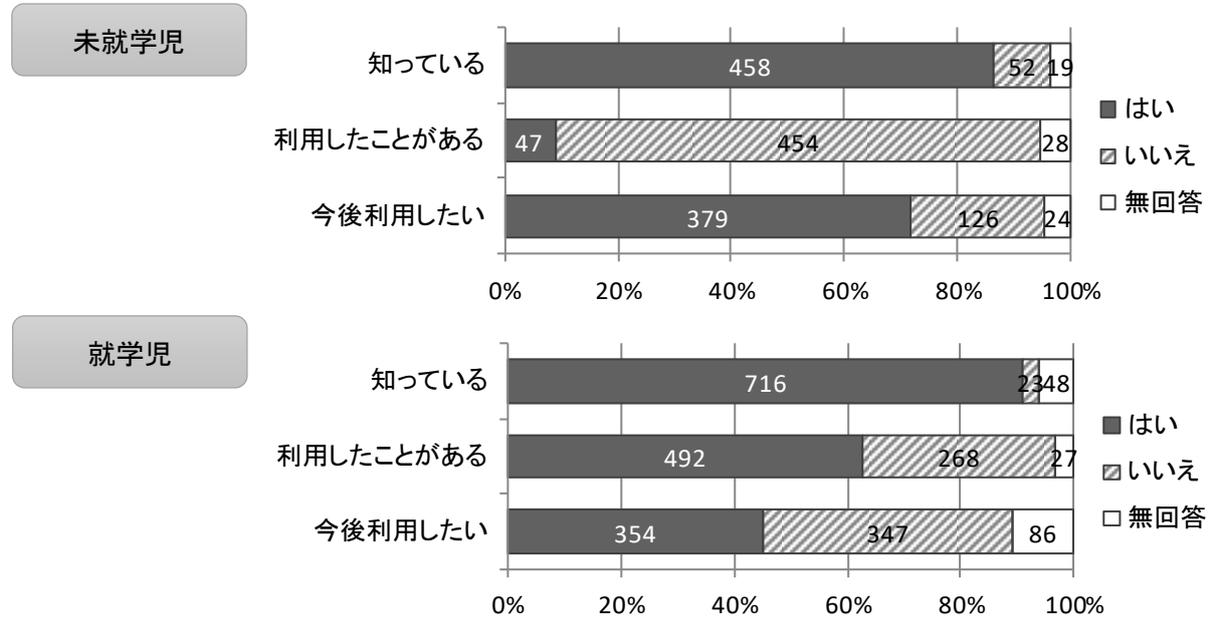
一時預かり事業については、「知っている」は、未就学児、就学児とも7割程度を示し、事業の認知度が高い。「利用したことがある」割合は、未就学児、就学児とも1割程度であるが、未就学児では「今後利用したい」という回答が約4割となっている。

⑥子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）



子育て援助活動支援事業（F・S・C）については、「知っている」は、未就学児、就学児とも半数程度を示しているが、「利用したことがある」は、いずれもごく少数となっている。また、「今後利用したい」は、未就学児で約3割を示している。

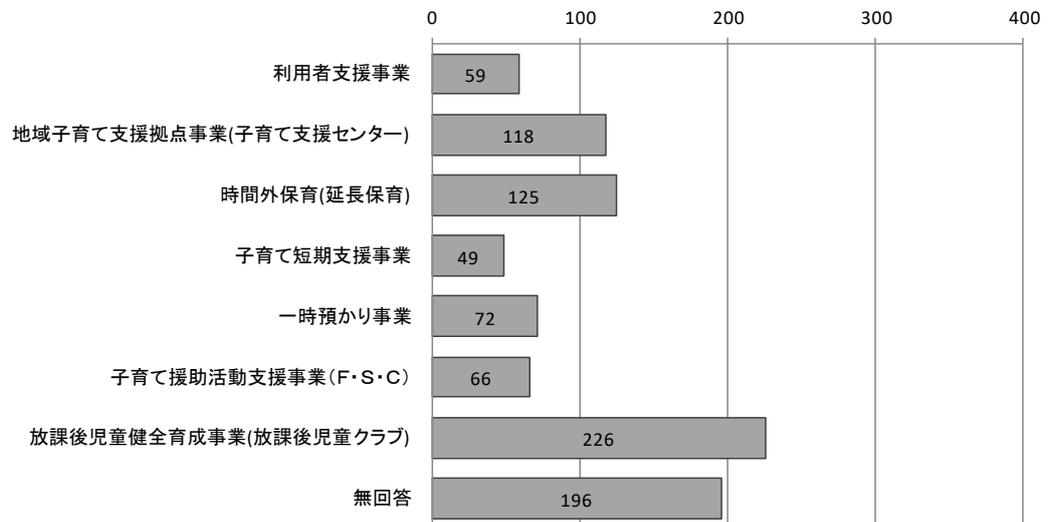
⑦放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）



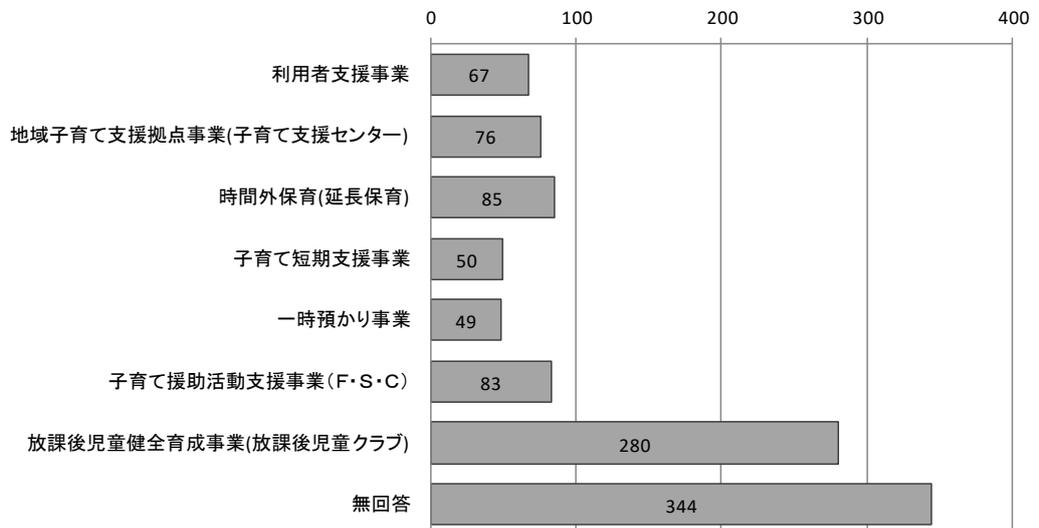
放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)については、「知っている」は、未就学児、就学児とも8割以上を示し、事業の認知度が高い。「利用したことがある」割合は、未就学児では少ないものの、就学児では回答者の約6割が利用している。「今後利用したい」は、未就学児、就学児とも高くなっている。

【重点的な取り組みを期待するもの】

未就学児



就学児



重点的な取り組みを期待するものについては、「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」、「時間外保育(延長保育)」、「地域子育て支援拠点事業」が多い。

問 17-1 (問 15-1) 問 17 (問 15) の事業のうち、「利用したことがある」に「はい」に選択した方に利用状況をうかがいます。現在のおおよその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

利用者支援事業	回答者平均			
	1週当たり		月当たり	
	現在	希望	現在	希望
(1)利用者支援事業	2.8	1.6	3.0	1.7
(2)地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)	2.4	2.2	3.0	2.6
(3)時間外保育(延長保育)	3.6	3.6	4.2	6.4
(4)子育て短期支援事業	1.0	1.6	1.0	2.1
(5)一時預かり事業	2.8	2.2	3.8	3.3
(6)子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)	3.0	2.4	5.0	3.2
(7)放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)	4.5	4.5	14.8	14.2

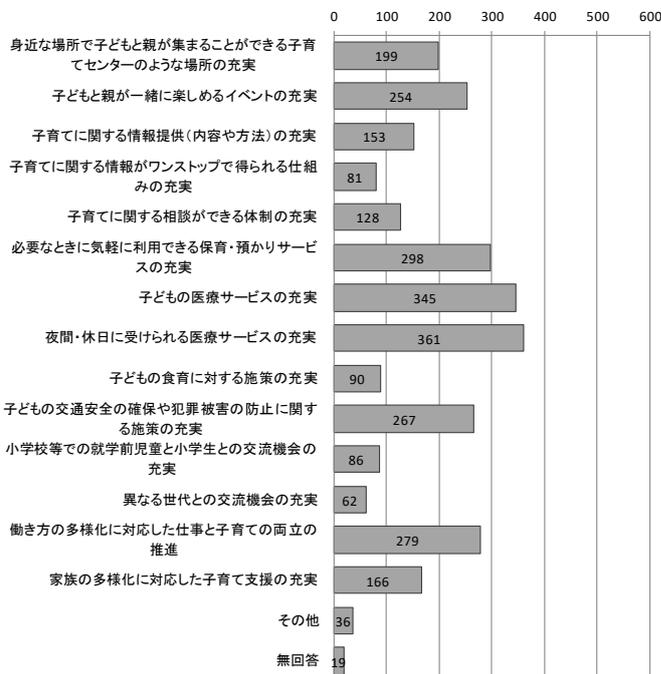
回答者平均			
1週当たり		月当たり	
現在	希望	現在	希望
2.7	3.1	3.2	1.3
2.2	2.1	3.1	2.1
3.8	3.7	4.8	4.9
5.0	1.5	1.3	1.3
3.1	2.4	4.8	2.3
5.0	2.2	4.4	2.0
4.4	4.2	15.6	13.6

地域子育て支援事業の利用頻度については、未就学児、就学児とも、「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」の頻度が高い。次いで、「時間外保育(延長保育)」となっており、保育時間後や放課後の子どもの預かりについてのニーズが高い。

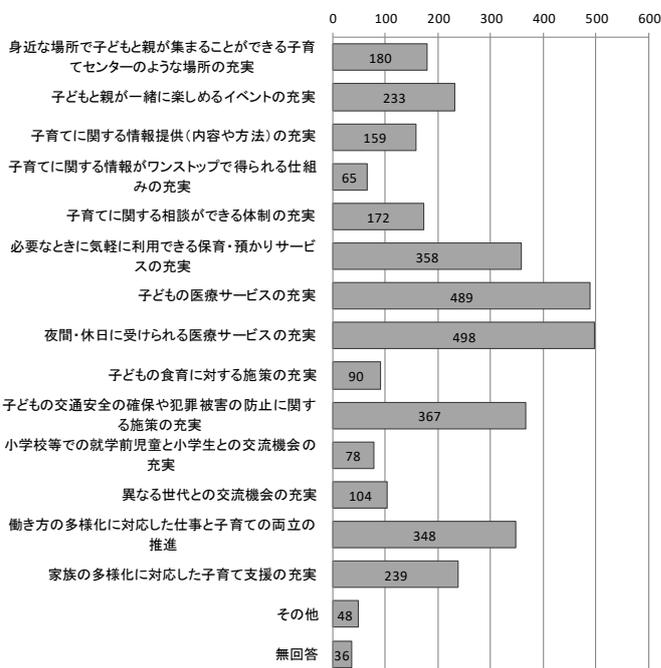
※就学児の「子育て短期支援事業」、「子育て援助活動支援事業」の、現在の1週当たりの日数が多くなっているが、回答者は1~2名となっている。

問 18 (問 16) すべての方におうかがいします。子育てについて、かすみがうら市でどのような支援の充実を図る必要があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

### 未就学児



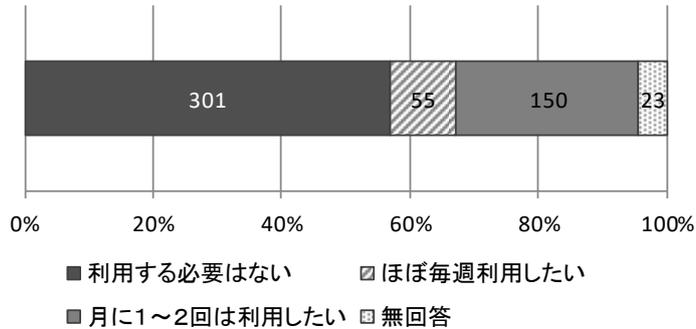
### 就学児



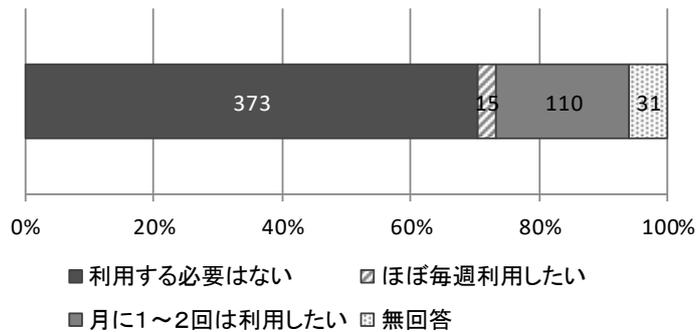
「夜間・休日に受けられる医療サービスの充実」、「子どもの医療サービスの充実」等の医療に関する支援の他、「必要なときに気軽に利用できる保育・預かりサービス」、「働き方の多様化に対応した子育て支援の充実」、「子どもの交通安全の確保や犯罪被害の防止に関する施策の充実」、「子どもと親と一緒に楽しめるイベントの充実」等が多くなっている。

問 19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制でご記入ください。

土曜日



日曜日・祝日



土曜日及び日曜日・祝日では、土曜日の方がニーズが多くなっている。利用頻度は、土曜日及び日曜日・祝日とも「月に1～2回は利用したい」が多い。

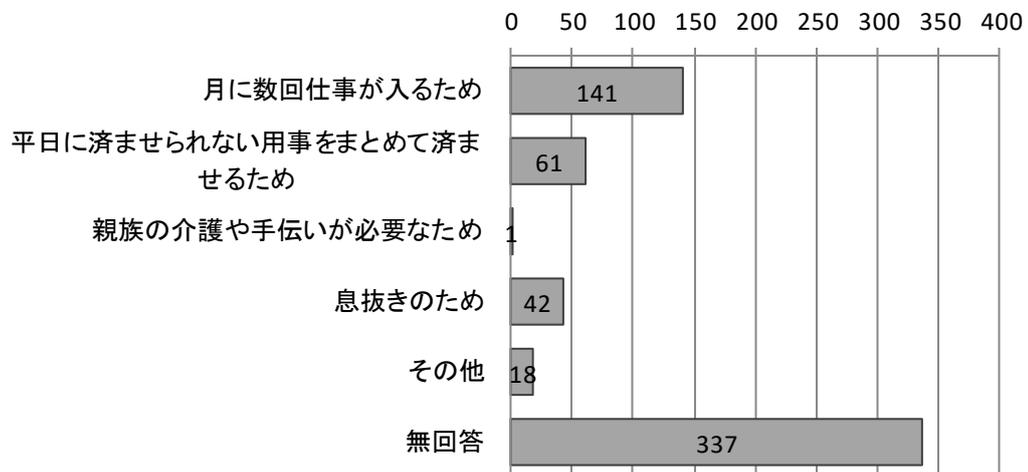
「利用したい」意向を持つ方が希望する開始・終了時間

①土曜日						②日曜日・祝日																	
ほぼ毎週利用したい			月に1～2回は利用したい			ほぼ毎週利用したい			月に1～2回は利用したい														
開始	回答数	構成比	終了	回答数	構成比	開始	回答数	構成比	終了	回答数	構成比	開始	回答数	構成比	終了	回答数	構成比						
6時	1	1.8%	13時	1	1.8%	6時	1	0.7%	12時	6	4.2%	6時	0	0.0%	13時	1	6.7%	6時	1	0.9%	12時	4	3.7%
7時	11	19.6%	14時	2	3.6%	7時	20	13.6%	13時	2	1.4%	7時	4	26.7%	14時	0	0.0%	7時	21	19.6%	13時	0	0.0%
8時	31	55.4%	15時	8	14.3%	8時	62	42.2%	14時	3	2.1%	8時	8	53.3%	15時	0	0.0%	8時	46	43.0%	14時	1	0.9%
9時	12	21.4%	16時	3	5.4%	9時	55	37.4%	15時	16	11.1%	9時	3	20.0%	16時	2	13.3%	9時	34	31.8%	15時	10	9.3%
10時	1	1.8%	17時	15	26.8%	10時	8	5.4%	16時	29	20.1%	10時	0	0.0%	17時	2	13.3%	10時	5	4.7%	16時	16	15.0%
11時	0	0.0%	18時	17	30.4%	11時	0	0.0%	17時	32	22.2%	11時	0	0.0%	18時	5	33.3%	11時	0	0.0%	17時	24	22.4%
12時	0	0.0%	19時	6	10.7%	12時	1	0.7%	18時	48	33.3%	12時	0	0.0%	19時	3	20.0%	12時	0	0.0%	18時	40	37.4%
合計	56	100.0%	20時	3	5.4%	合計	147	100.0%	19時	6	4.2%	合計	15	100.0%	20時	1	6.7%	合計	107	100.0%	19時	8	7.5%
平均	8.0	-	21時	1	1.8%	平均	8.4	-	20時	2	1.4%	平均	7.9	-	21時	1	6.7%	平均	8.2	-	20時	4	3.7%
			合計	56	100.0%				21時	0	0.0%				合計	15	100.0%				21時	0	0.0%
			平均	17.2	-				合計	144	100.0%				平均	17.8	-				合計	107	100.0%
									平均	16.6	-										平均	17.0	-

「利用したい」と回答した方が希望する開始・終了時間をみると、開始時間は土曜日、日曜日・祝日とも「8時」が多く、終了時間は「18時」が多い。

問 19-1 問 19 で、「3. 月に1~2回は利用したい」と回答した方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

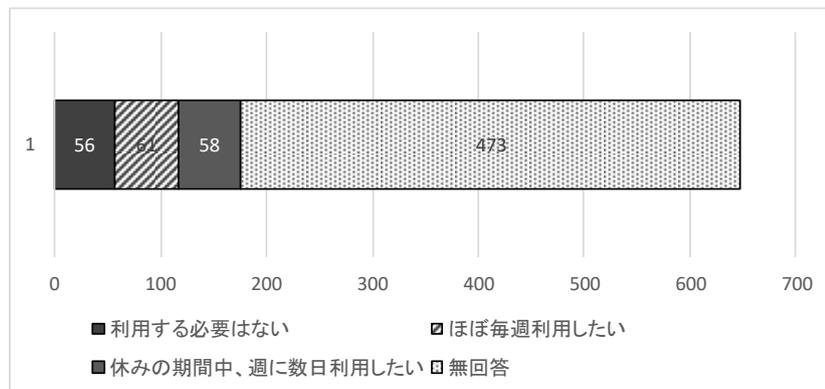
土曜日と日曜日・祝日



毎週でなくたまに利用したい理由としては、「月に数回仕事が入るため」、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が多く、次いで、「息抜きのため」となっている。

問 20 「幼稚園（認定こども園を除く）」及び「認定こども園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制でご記入ください。

長期の休暇中



開始・終了時間

ほぼ毎週利用したい

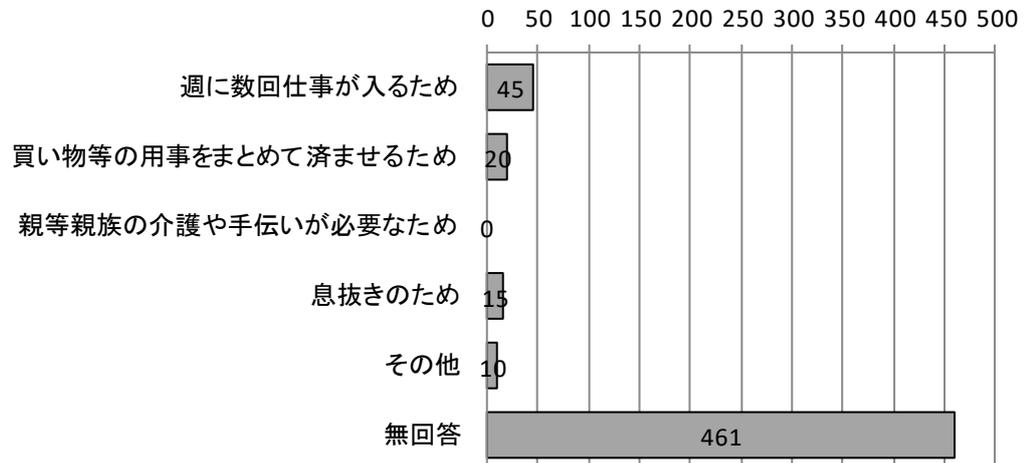
週に1～2回は利用したい

開始	回答数	構成比	終了	回答数	構成比	開始	回答数	構成比	終了	回答数	構成比
6時	1	1.7%	13時	0	0.0%	6時	1	1.8%	12時	0	0.0%
7時	16	26.7%	14時	0	0.0%	7時	2	3.6%	13時	0	0.0%
8時	22	36.7%	15時	3	5.0%	8時	23	41.1%	14時	3	5.4%
9時	20	33.3%	16時	10	16.7%	9時	22	39.3%	15時	13	23.2%
10時	1	1.7%	17時	10	16.7%	10時	8	14.3%	16時	19	33.9%
11時	0	0.0%	18時	32	53.3%	11時	0	0.0%	17時	10	17.9%
12時	0	0.0%	19時	4	6.7%	12時	0	0.0%	18時	9	16.1%
合計	60	100.0%	20時	1	1.7%	合計	56	100.0%	19時	1	1.8%
平均	8.1	-	21時	0	0.0%	平均	8.6	-	20時	1	1.8%
			合計	60	100.0%				21時	0	0.0%
			平均	17.5	-				合計	56	100.0%
									平均	16.3	-

「利用したい」と回答した方が希望する開始・終了時間をみると、開始時間は、「ほぼ毎週利用したい」、「週に1～2回は利用したい」とも「8時」が多いが、終了時間については、前者は「18時」が半数を占める一方で、後者は「16時」が最も多くなっている。

問 20-1 問 20 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

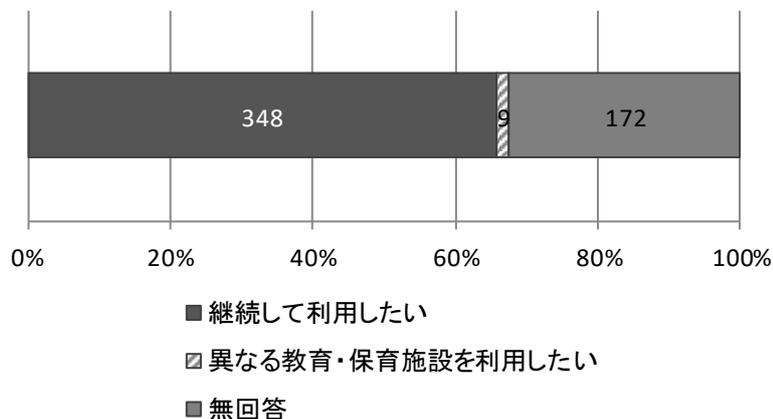
長期休暇中



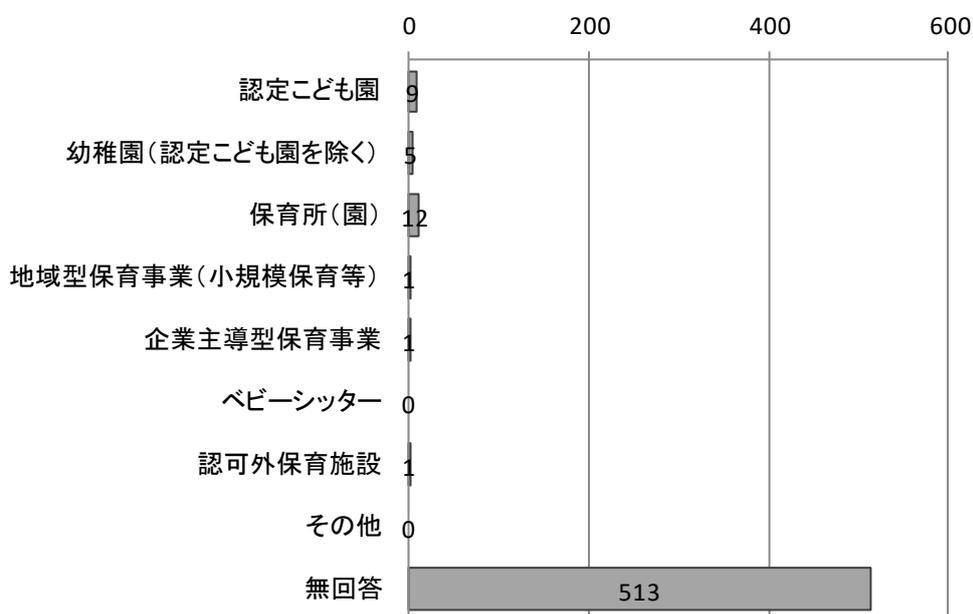
毎日でなくたまに利用したい理由としては、「月に数回仕事が入るため」、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が多い。「息抜きのため」は、土曜日と日曜日・祝日と比べ、少なくなっている。

問 21 現在、教育・保育施設を利用している方にうかがいます。幼児教育・保育無償化が実施された場合、現在利用している教育・保育施設を継続して利用したいですか。あるいは、異なる教育・保育施設を利用したいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

### 施設利用意向



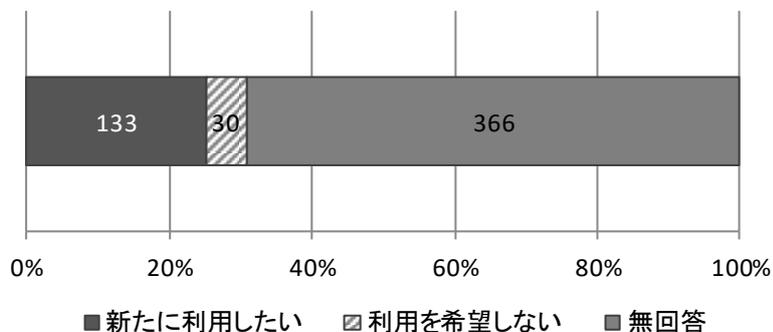
### 利用したい教育・保育施設



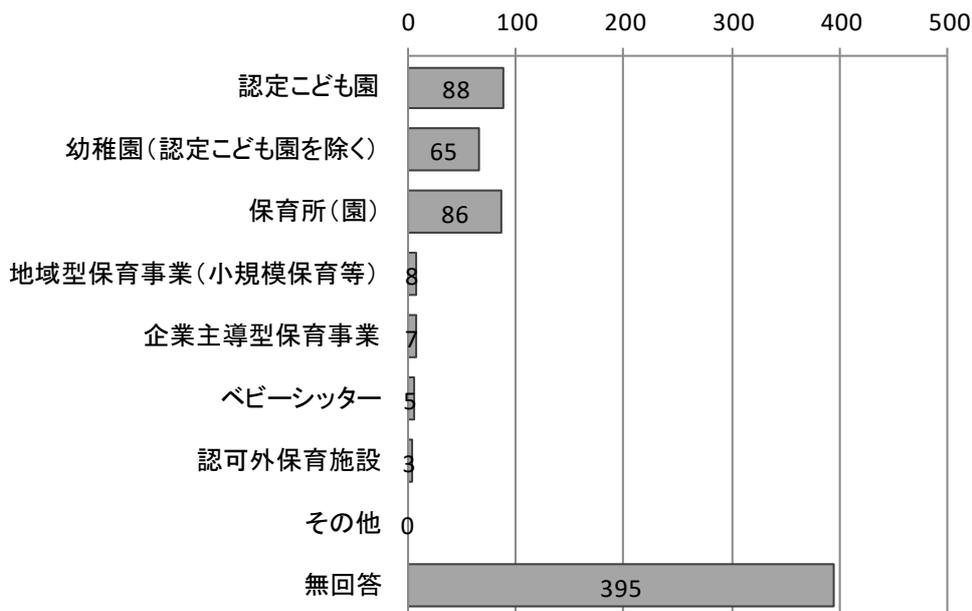
幼児教育・保育無償化が実施された場合の利用意向については、「継続して利用したい」が7割近くを占める一方、「異なる教育・保育施設を利用したい」は少数となっている。

問 22 現在、教育・保育施設を利用していない方にうかがいます。幼児教育・保育無償化が実施された場合、新たに教育・保育施設の利用を希望したいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

新たな利用意向



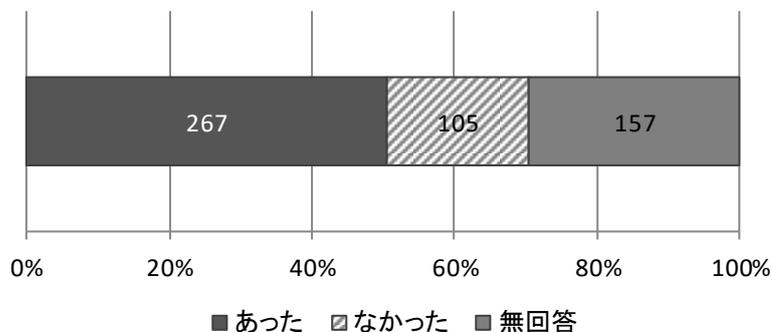
利用したい教育・保育施設



幼児教育・保育無償化が実施された場合の新たな施設の利用意向については、「新たに利用したい」は2割程度であり、「利用を希望しない」が7割近くとなっている。利用したい教育・保育施設としては、「保育所（園）」、「認定こども園」、「幼稚園」となっている。

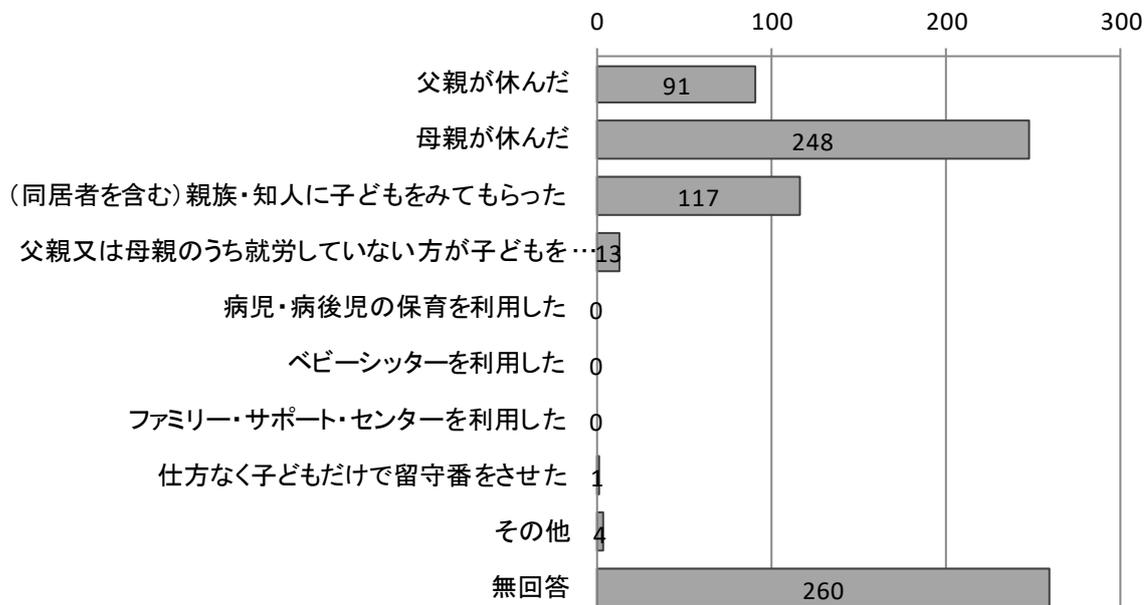
問 23 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると回答した保護者の方（問 15 で「1. 利用している」と回答した方）にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで、仕事に支障が生じたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

支障の有無



問 23-1 問 23 で「1. あった」と回答された方にうかがいます。宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

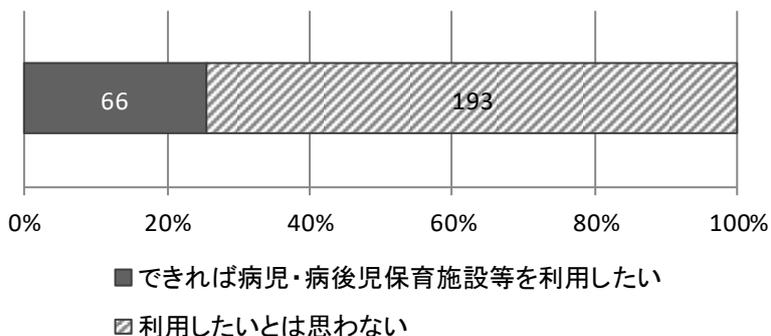
対処方法



回答者の半数が「あった」と回答しており、対処方法としては、「母親が休んだ」が最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」となっている。「父親が休んだ」という回答は3番目となっている。

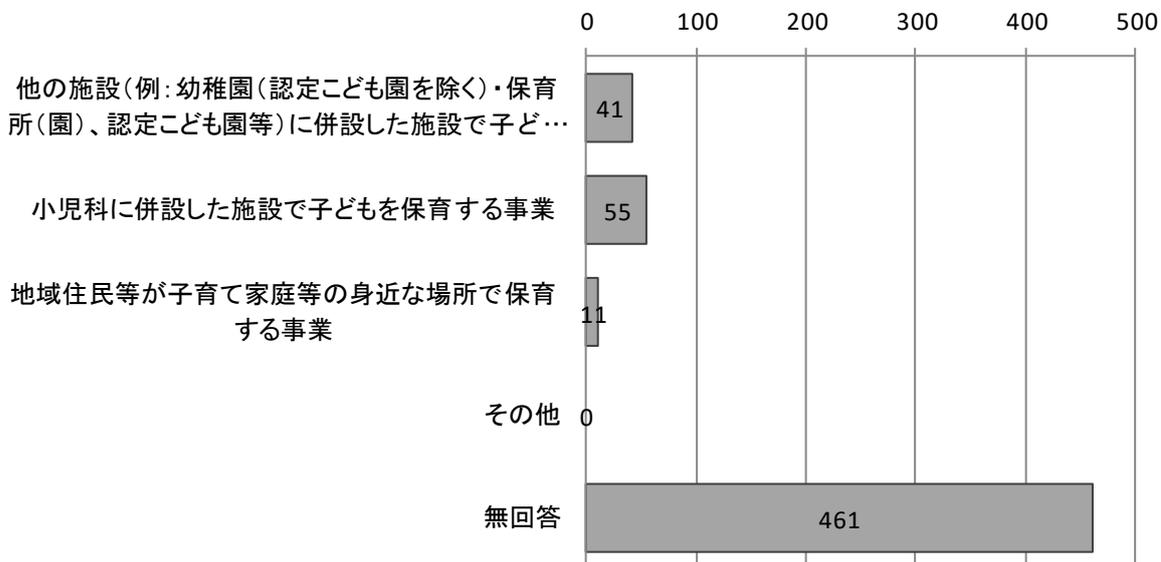
問 23-2 問 23-1 で「ア」、「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。

利用意向



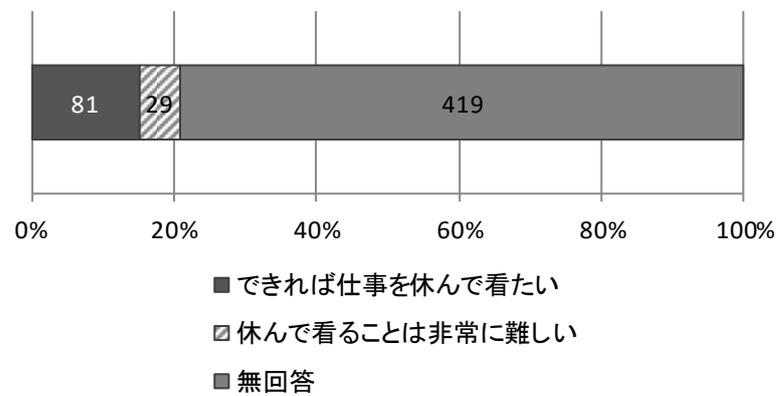
問 23-3 問 23-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもを預ける望ましい形態



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が2割強、「利用したいとは思わない」が8割弱となっている。預けるのに望ましい形態としては、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」となっている。

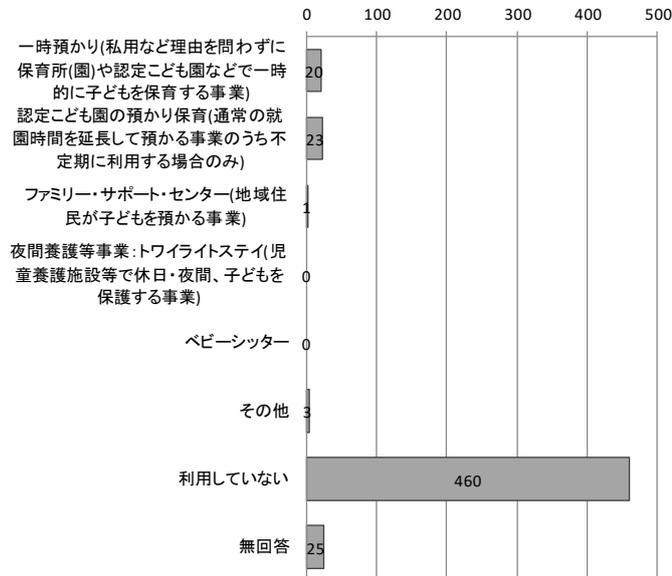
問 23-5 問 23-1で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



回答があった方のうち、「できれば仕事を休んで看たい」が7割、「休んで看ることは非常に難しい」が3割となっている。

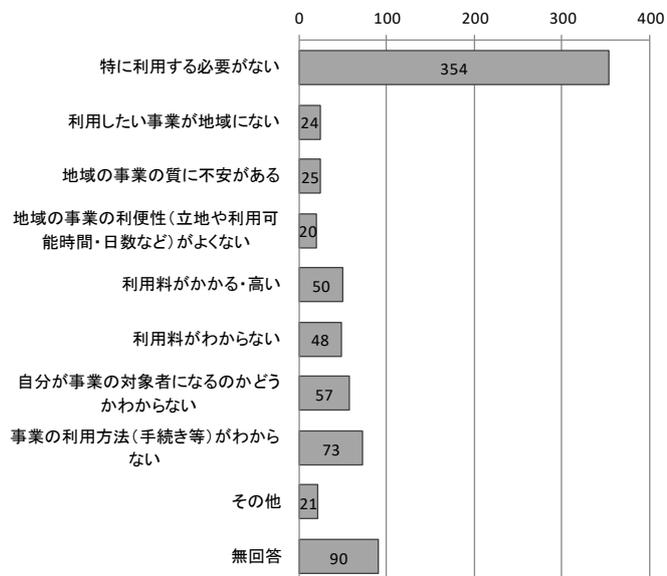
問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則な就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用している事業



問 24-1 問 24 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由はどのような理由ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

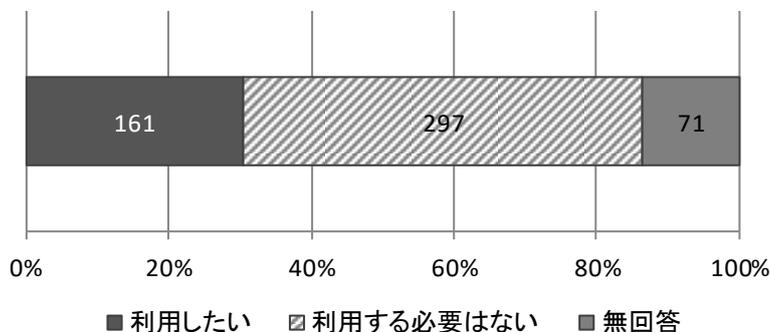
利用していない理由



利用している施設としては、「一時預かり」、「認定子ども園の預かり保育」となっている。利用していない理由としては、「事業の利用方法がわからない」、「自分が事業の対象になるのかわからない」、「利用料がかかる・高い」、「利用料がわからない」という意見が多い。

問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

利用意向



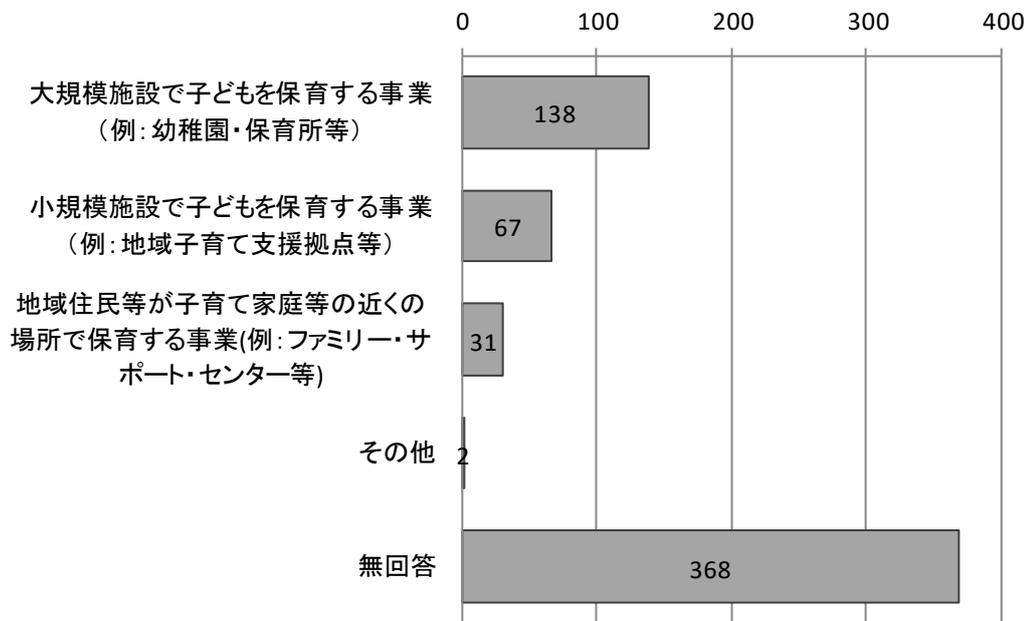
年間の利用日数

日数	私用、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	不定期の就労	その他	合計
1日	3	2	51	1	57
2日	7	15	0	2	24
3日	11	11	0	3	25
4日	2	2	0	1	5
5日	20	25	0	6	51
6日	5	5	0	0	10
7日	0	3	0	2	5
8日	1	0	0	1	2
9日	0	0	0	1	1
10日	20	15	0	8	43
11日	0	0	0	0	0
12日	12	3	0	1	16
13日	0	0	0	0	0
14日	1	0	0	0	1
15日	1	2	0	3	6
16日	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0
20日	5	3	0	6	14
21日	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0
24日	5	1	0	1	7
25日	1	1	0	0	2
26日	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0
30日	0	1	0	2	3

「利用したい」と回答した方が必要とする利用日数については、「私用、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等」とも「5日」、「10日」が多い。

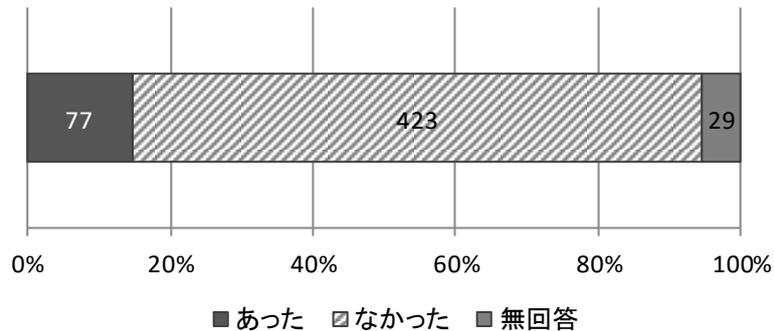
問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」と回答した方にうかがいます。問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

預けるのに望ましい形態

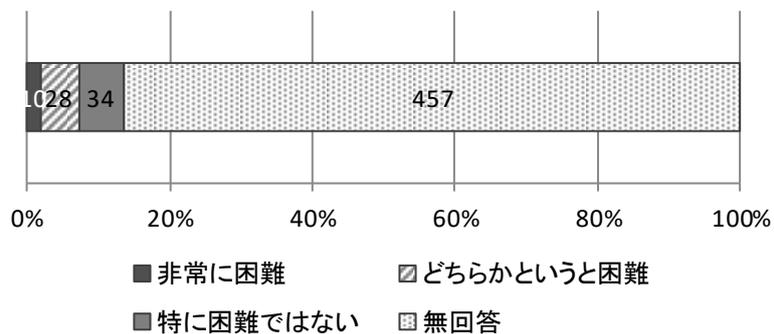


「利用したい」が3割、「利用する必要はない」が6割となっている。預けるのに望ましい形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」が最も多くなっている。

問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛先のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。



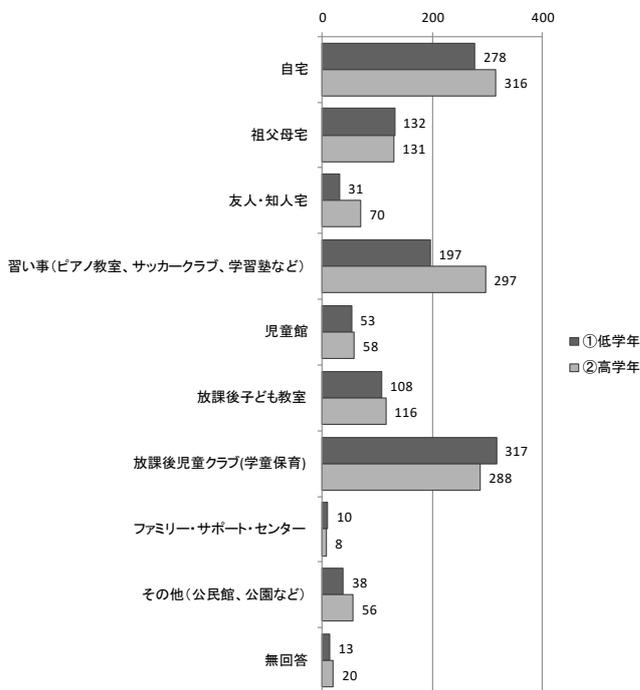
問 26-1 問 26 で「1. あった ア.（同居人を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した方にかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



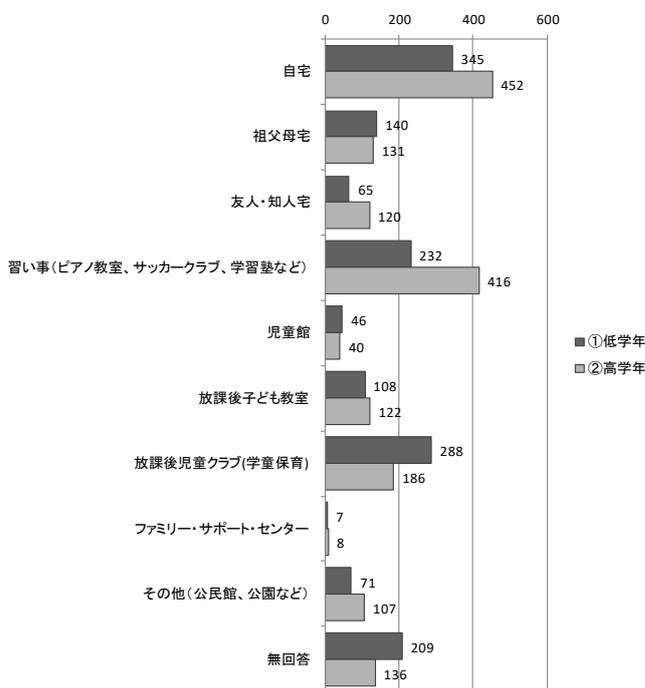
回答者の8割が「なかった」と回答しているが、2割弱の方が「あった」と回答している。その際の困難度については、「非常に困難」と「どちらかという困難」の合計が「特に困難ではない」よりもやや多い。

問 27 (問 19) 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年）、高学年（4～6年）毎に、現在お持ちのイメージを選択肢欄から選び、当てはまる番号すべてをご記入ください。

未就学児



就学児

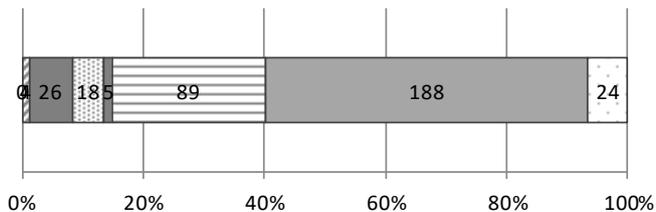


未就学児、就学児とも「自宅」が最も多く、次いで「習い事」となっている。これらについては、低学年よりも高学年になると更に多くなっている。「放課後児童クラブ（学童保育）」は、高学年よりも低学年で多い傾向を示すが、いずれも就学児よりも未就学児の方が多し。「祖父母宅」は、高学年でやや減少するものの、未就学児、就学児とも一定の回答が示されている。

問 29 (問 21) 問 27 で「7. 放課後児童クラブ (学童保育)」を選択した方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。  
 (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日ごとに、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

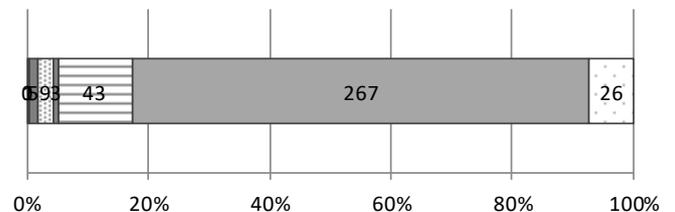
未就学児

土曜日



- 1年生までは利用したい
- 2年生までは利用したい
- 3年生までは利用したい
- 4年生までは利用したい
- 5年生までは利用したい
- 6年生までは利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答

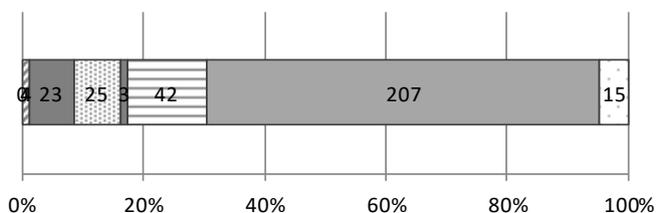
日曜日・祝日



- 1年生までは利用したい
- 2年生までは利用したい
- 3年生までは利用したい
- 4年生までは利用したい
- 5年生までは利用したい
- 6年生までは利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答

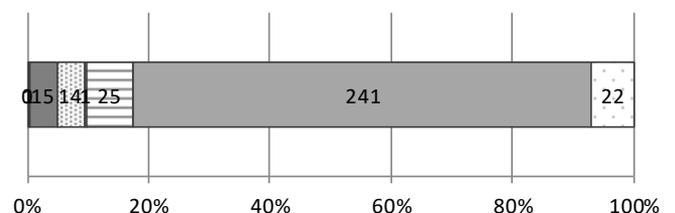
就学児

土曜日



- 1年生までは利用したい
- 2年生までは利用したい
- 3年生までは利用したい
- 4年生までは利用したい
- 5年生までは利用したい
- 6年生までは利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答

日曜日・祝日

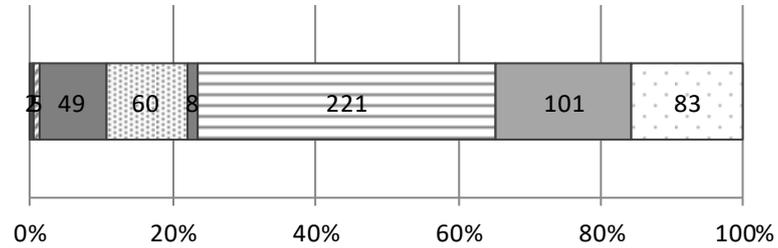


- 1年生までは利用したい
- 2年生までは利用したい
- 3年生までは利用したい
- 4年生までは利用したい
- 5年生までは利用したい
- 6年生までは利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答

土曜日と日曜日・祝日の、放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が最も多いが、未就学児、就学児とも「土曜日」の利用希望がやや多くみられる。

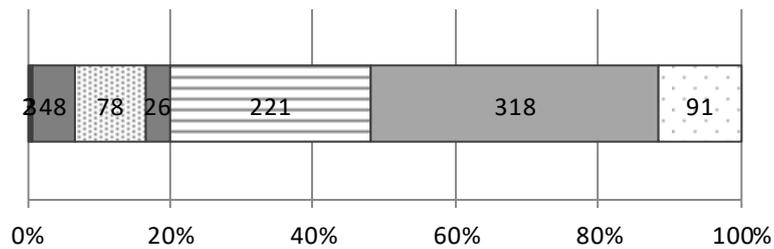
問 30 (問 22) 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

未就学児



- 1年生までは利用したい
- ▨ 2年生までは利用したい
- 3年生までは利用したい
- ▨ 4年生までは利用したい
- 5年生までは利用したい
- ▨ 6年生までは利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答

就学児



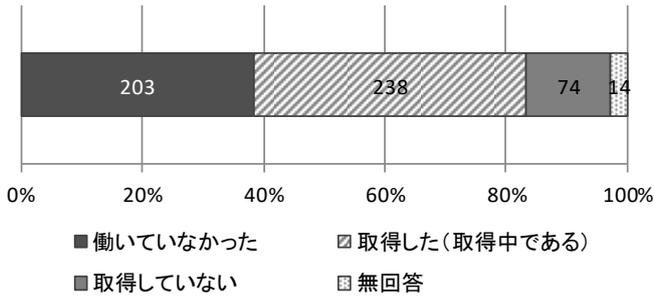
- 1年生までは利用したい
- ▨ 2年生までは利用したい
- 3年生までは利用したい
- ▨ 4年生までは利用したい
- 5年生までは利用したい
- ▨ 6年生までは利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望については、就学児では「利用する必要はない」が最も多いが、未就学児では「6年生までは利用したい」が多くなる。

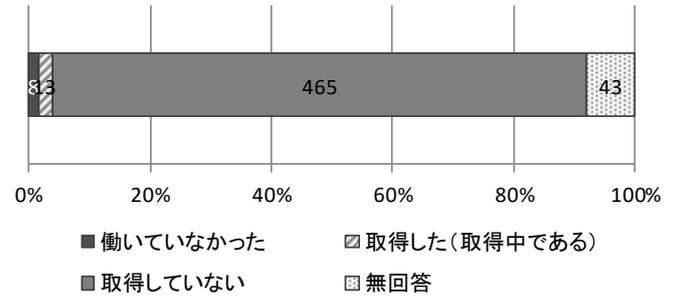
問 31 (問 23) 宛名のお子さん生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、1～15の中からその理由の番号をご記入ください。

未就学児

母親

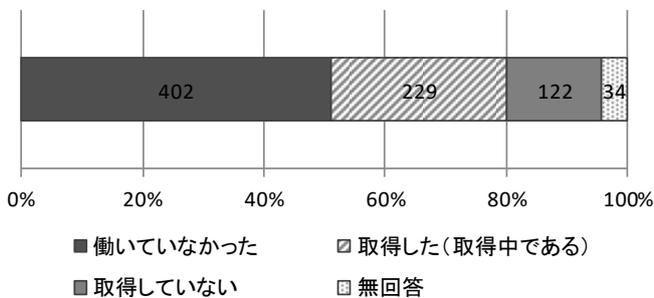


父親

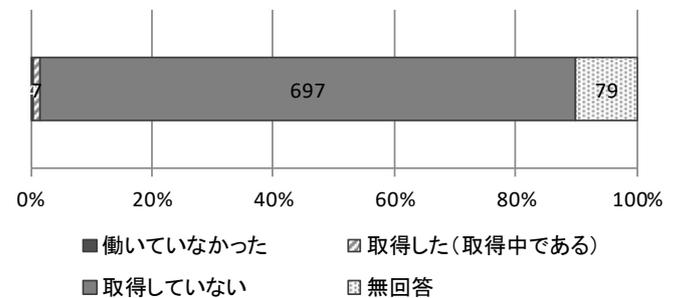


就学児

母親



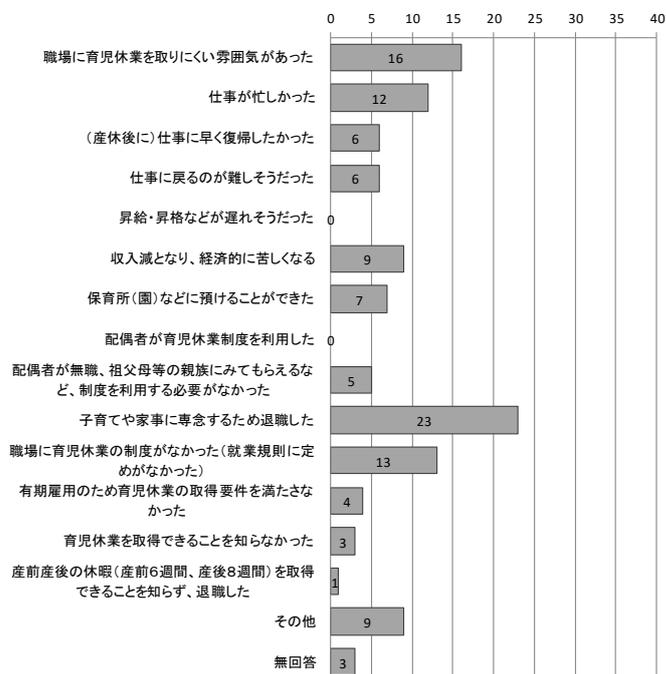
父親



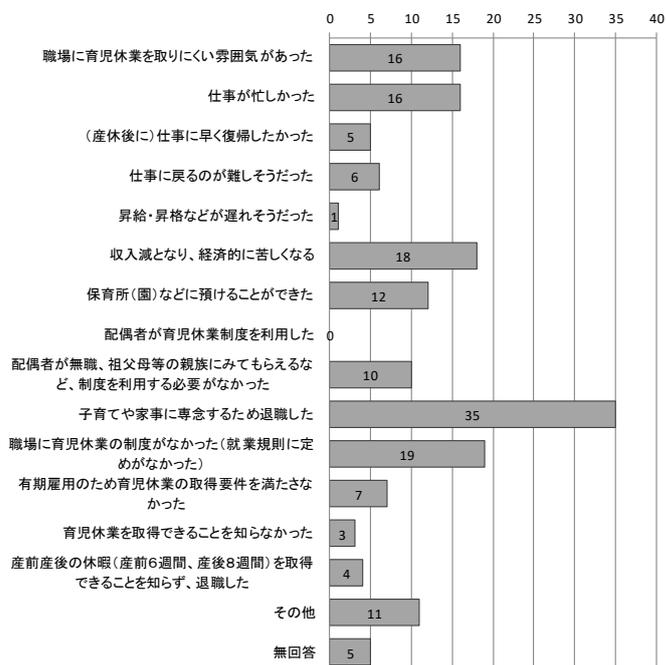
育児休業を「取得した」という回答は、母親が多く父親はほとんど取得していない。母親については、「働いていなかった」は未就学児より就学児の方が多く、育児休業を「取得した」割合が高いのは未就学児の母親となっている。

## 育児休業を取得しなかった理由【母親】

### 未就学児



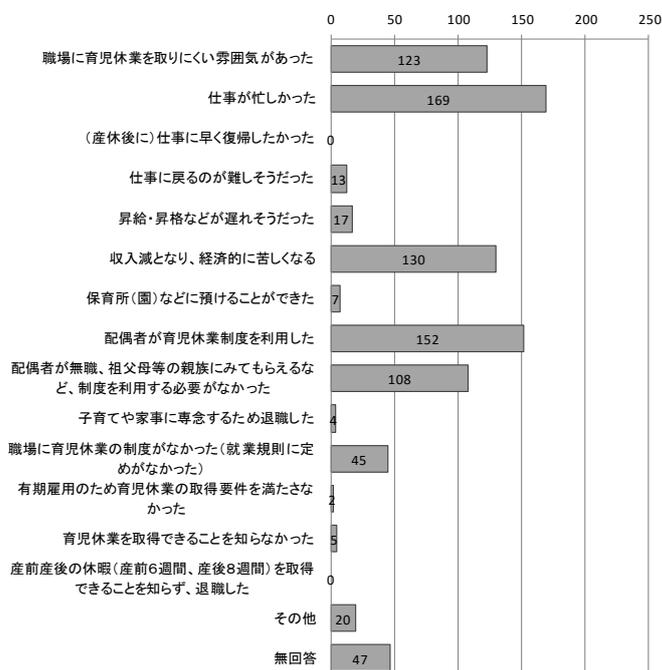
### 就学児



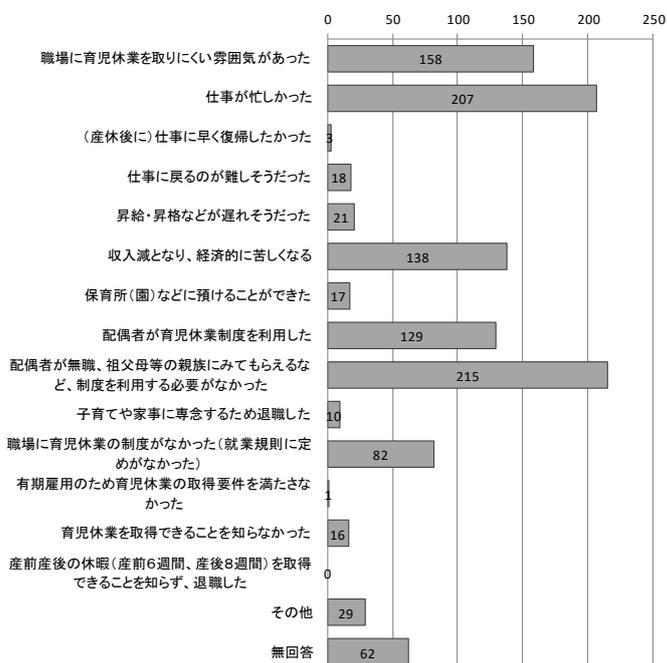
取得しなかった理由については、未就学児・就学児とも同様の傾向を示し、「子育てや家事に専念するために退職した」が最も多く、出産・育児に合わせて退職することが多い状況である。その他としては、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業の制度がなかった」という職場の要因の他、「収入減となり、経済的に苦しくなる」という経済的的回答もみられる。

## 育児休業を取得しなかった理由【父親】

### 未就学児



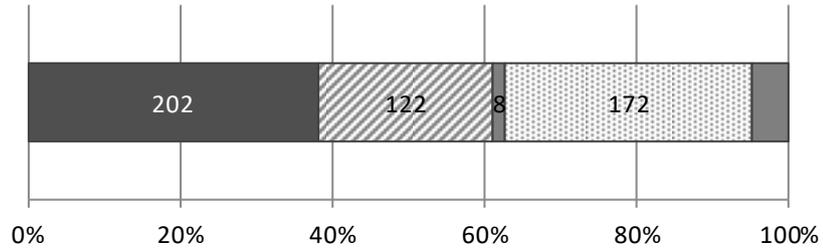
### 就学児



取得しなかった理由については、未就学児・就学児とも同様の傾向を示し、「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」等の職場に関する理由が多い他、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が最も多くなっている。

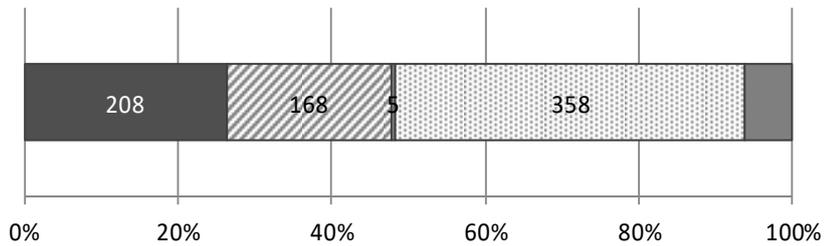
問 31-1 (問 23) 子どもが原則 1 歳 (保育所 (園) ) における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 カ月) になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等 (法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置) 期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

未就学児



- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- ▨ 育児休業給付のみ知っていた
- 保険料免除のみ知っていた
- ▨ 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
- 無回答

就学児



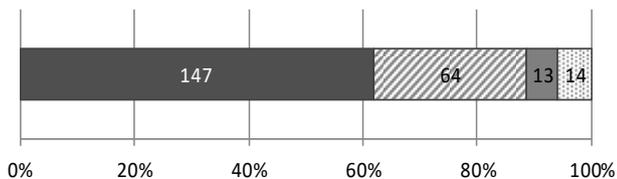
- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- ▨ 育児休業給付のみ知っていた
- 保険料免除のみ知っていた
- ▨ 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
- 無回答

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が多く、就学児では4割程度を占めている。「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」については、未就学児で4割近くとなっているが、就学児では3割程度にとどまる。「育児休業給付のみ知っていた」は、未就学児と就学児で同程度となっている。

問 31-2 (問 23) 問 31 で「2. 取得した (取得中である)」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

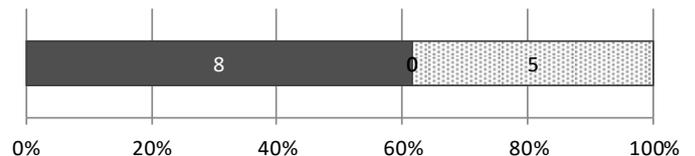
未就学児

母親



- 育児休業取得後、職場に復帰した
- ▨ 現在も育児休業中である
- 育児休業中に離職した
- ▨ 無回答

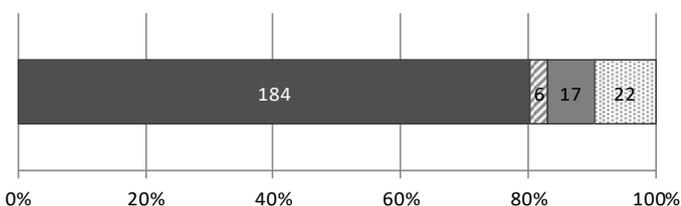
父親



- 育児休業取得後、職場に復帰した
- ▨ 現在も育児休業中である
- 育児休業中に離職した
- ▨ 無回答

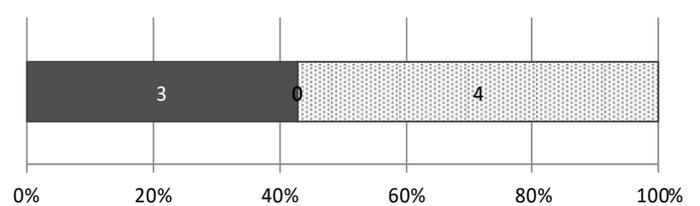
就学児

母親



- 育児休業取得後、職場に復帰した
- ▨ 現在も育児休業中である
- 育児休業中に離職した
- ▨ 無回答

父親



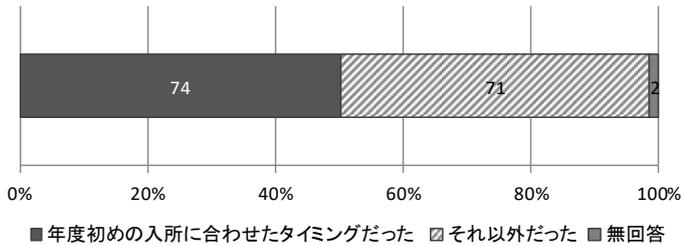
- 育児休業取得後、職場に復帰した
- ▨ 現在も育児休業中である
- 育児休業中に離職した
- ▨ 無回答

育児休業取得後の職場の復帰については、母親では、未就学児で6割、就学児で8割近くの回答者が復帰しているが、「育児休業中に離職した」方が、未就学児、就学児とも1割弱みられている。父親については、復帰している例が多いが、就学児で「育児休業中に離職した」方もみられる。

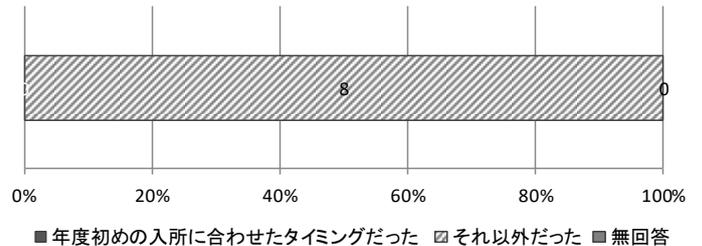
問 31-3 問 31-2 で「1. 職場休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいは、それ以外でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

未就学児

母親

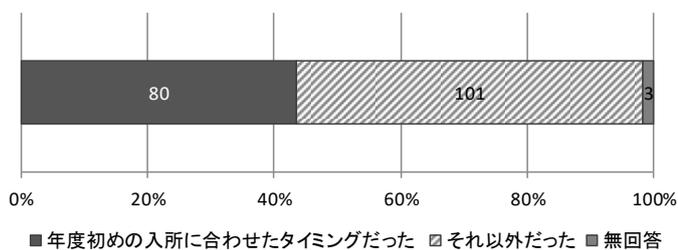


父親

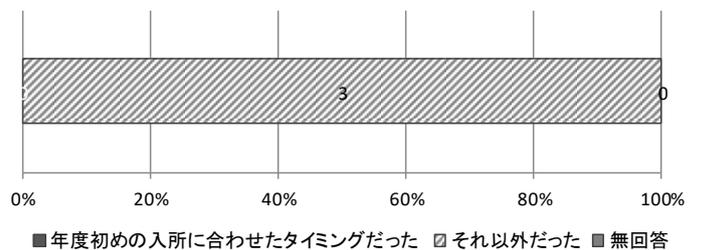


就学児

母親



父親



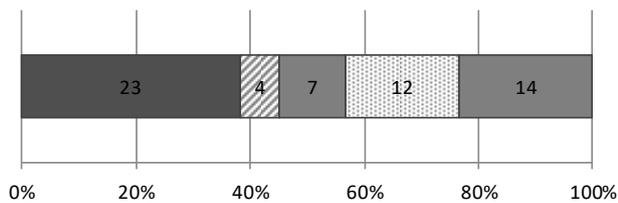
育児休業からの復帰時期については、母親では、未就学児で「年度初めの入所に合わせるタイミングだった」という回答がやや多くなっているが、就学児では「それ以外だった」が多くなっている。父親については、未就学児、就学児とも「それ以外だった」が多くなっている。

問 31-6 (問 23) 問 31-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

希望より早く復帰

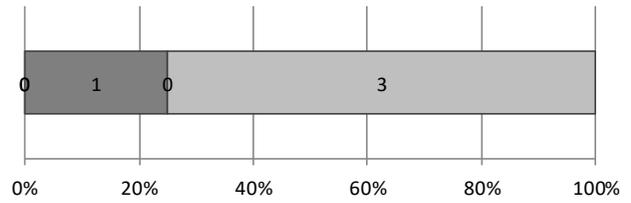
未就学児

母親



- 希望する保育所(園)に入るため
- ▨ 配偶者や家族の希望があったため
- 経済的な理由で早く復帰する必要があった
- ▨ 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- その他

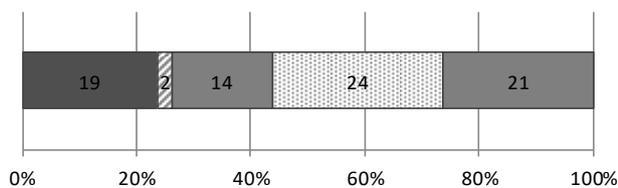
父親



- 希望する保育所(園)に入るため
- ▨ 配偶者や家族の希望があったため
- 経済的な理由で早く復帰する必要があった
- ▨ 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- その他

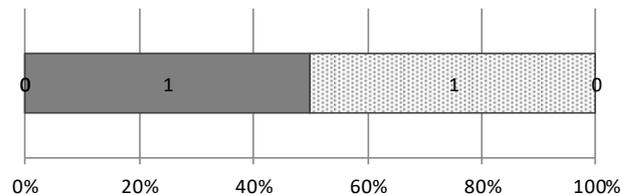
就学児

母親



- 希望する保育所(園)に入るため
- ▨ 配偶者や家族の希望があったため
- 経済的な理由で早く復帰する必要があった
- ▨ 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- その他

父親



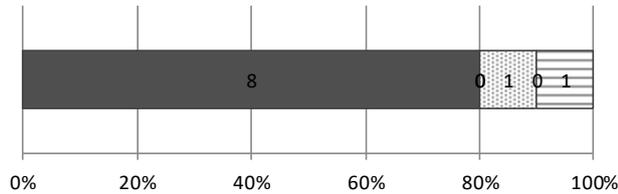
- 希望する保育所(園)に入るため
- ▨ 配偶者や家族の希望があったため
- 経済的な理由で早く復帰する必要があった
- ▨ 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- その他

希望より早く復帰した理由については、母親では、未就学児で「希望する保育所(園)に入るため」、就学児では「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が最も多く、時期については保育所の入園希望と職場の環境が影響している。父親については、サンプル数は少ないが、「人事異動や業務の時期に合わせるため」が多くなっている。

## 希望より遅く復帰

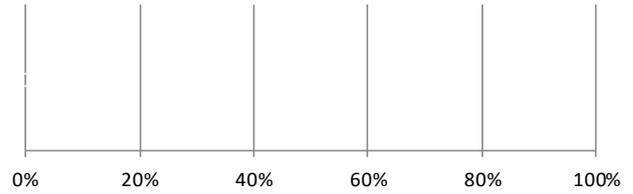
### 未就学児

#### 母親



- 希望する保育所(園)に入れなかったため
- ▣ 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 配偶者や家族の希望があったため
- ▣ 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 子どもをみてくれる人がいなかったため
- その他

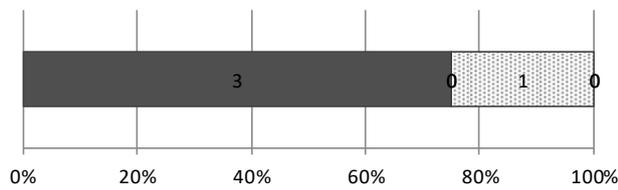
#### 父親



- 希望する保育所(園)に入れなかったため
- 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 配偶者や家族の希望があったため
- 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 子どもをみてくれる人がいなかったため
- その他

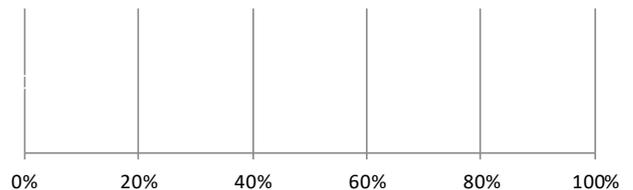
### 就学児

#### 母親



- 希望する保育所(園)に入れなかったため
- ▣ 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 配偶者や家族の希望があったため
- ▣ 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 子どもをみてくれる人がいなかったため
- その他

#### 父親



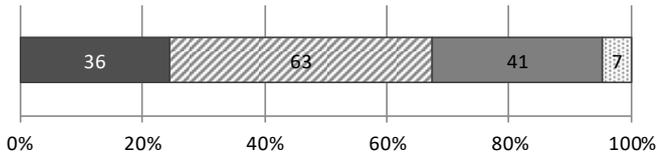
- 希望する保育所(園)に入れなかったため
- 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 配偶者や家族の希望があったため
- 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 子どもをみてくれる人がいなかったため
- その他

復帰が希望より遅くなった理由については、「希望する保育所(園)に入れなかったため」が最も多くなっている。

問 31-7 (問 23) 問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

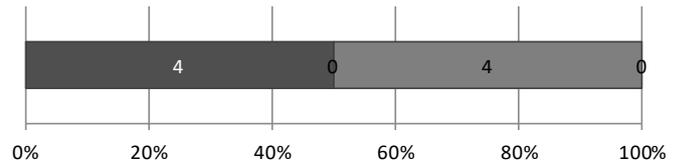
未就学児

母親



- 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
- 無回答

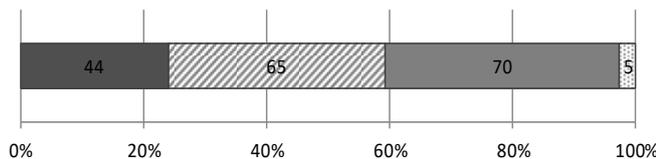
父親



- 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
- 無回答

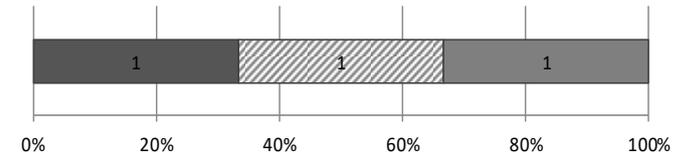
就学児

母親



- 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
- 無回答

父親



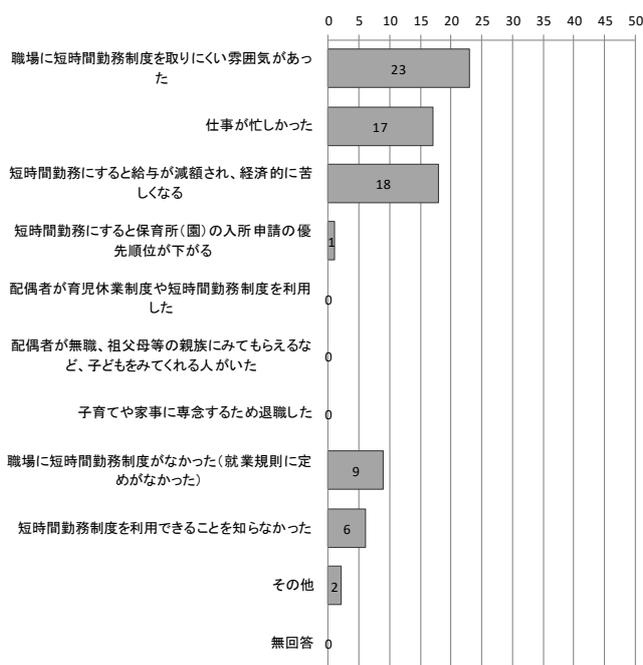
- 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

母親は、未就学児では「利用した」、就学児では「利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」が最も多くなっている。一方、「利用する必要がなかった」は、未就学児、就学児とも3割弱となっている。父親については、「利用する必要がなかった」が最も多くなっているが、就学児では、「利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」が同数となっている。

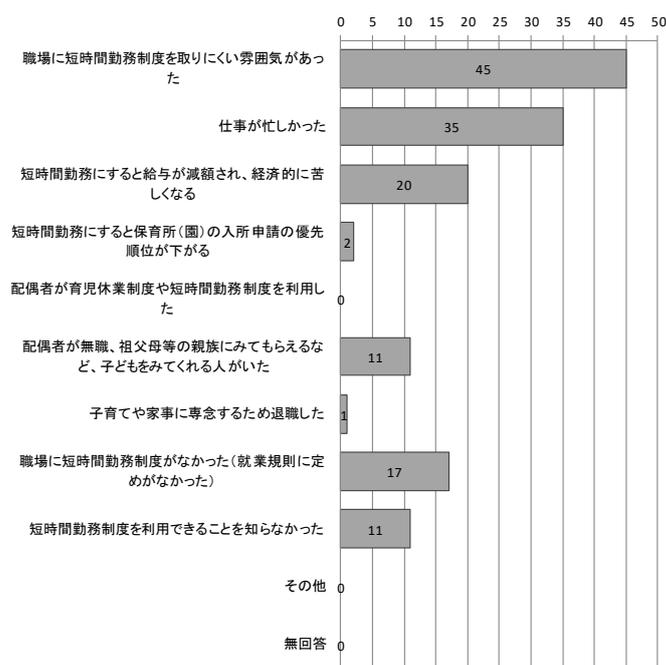
問 31-8 (問 23) 問 31-7 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。短時間制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

## 母親

### 未就学児



### 就学児

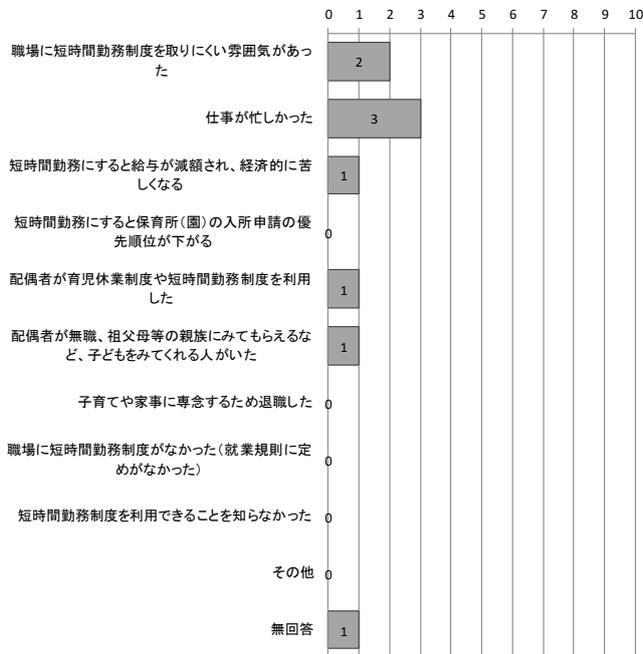


「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」という職場での理由が多いが、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」という経済的理由も見られる。

また、「職場に短時間勤務制度がなかった」という理由も見られる他、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」も一定数見られる。

## 父親

### 未就学児



### 就学児

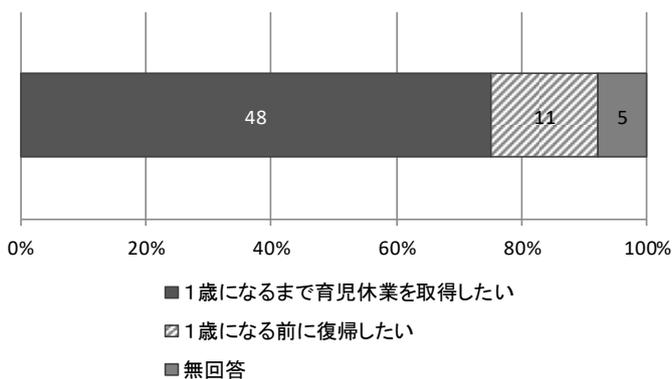


回答者数は少ないが、母親と同様に「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」という職場での理由、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」という経済的理由が挙げられている。

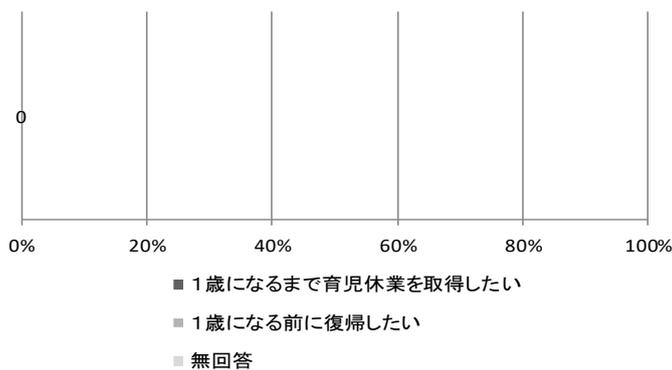
問 31-9 (問 23) 問 31-2 で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

未就学児

母親

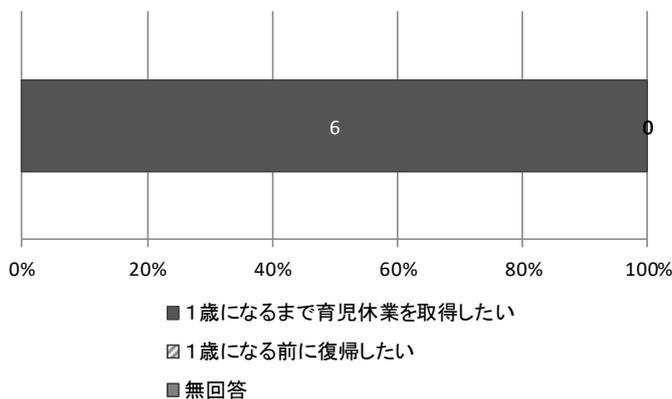


父親

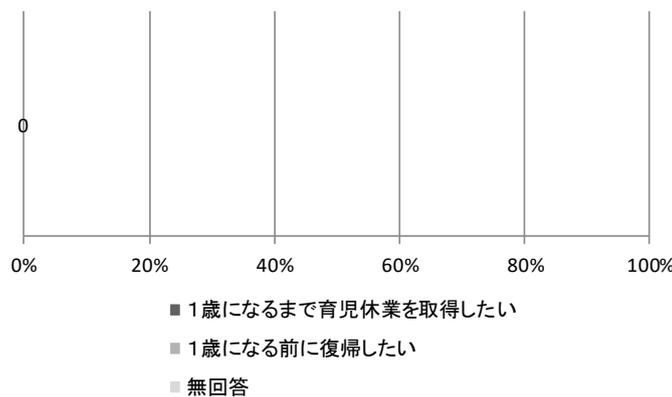


就学児

母親



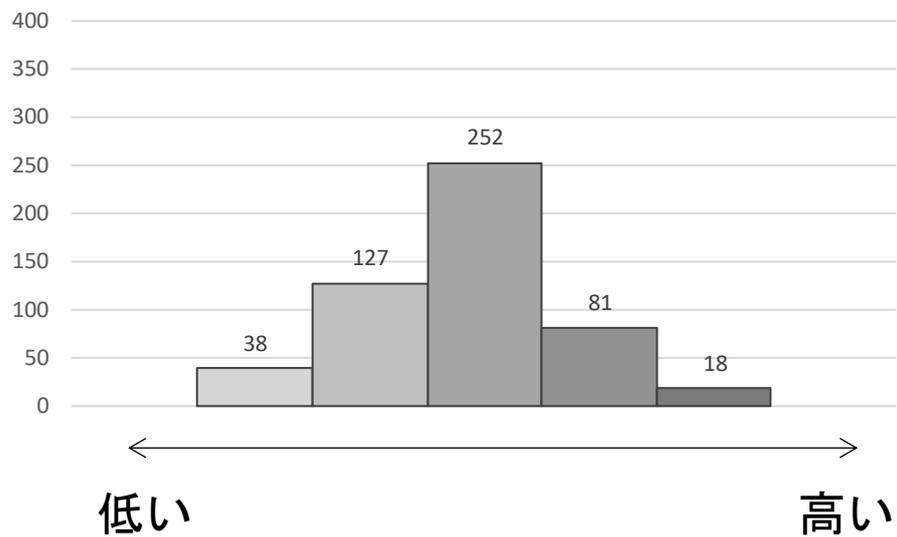
父親



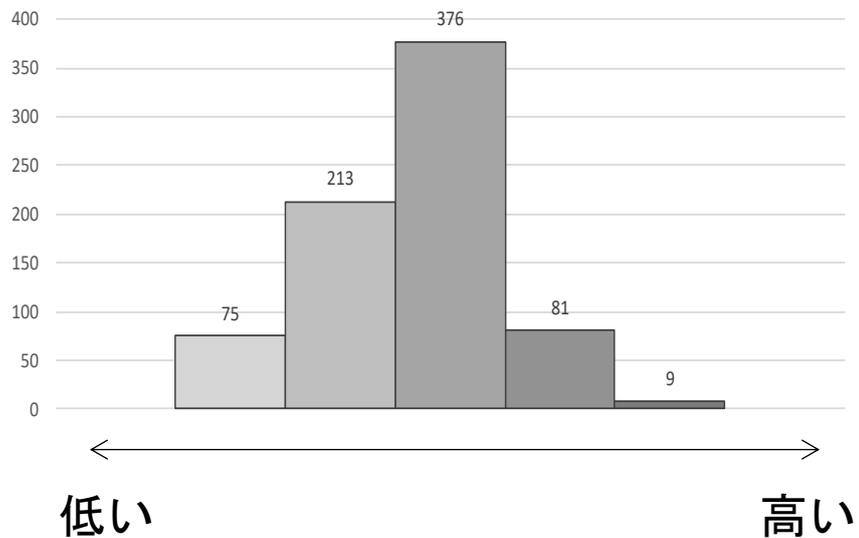
「1歳になるまで育児休業を取得したい」は、母親は未就学児で7割、就学児で全回答者となっている。

問 32 (問 24) かすみがうら市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

未就学児



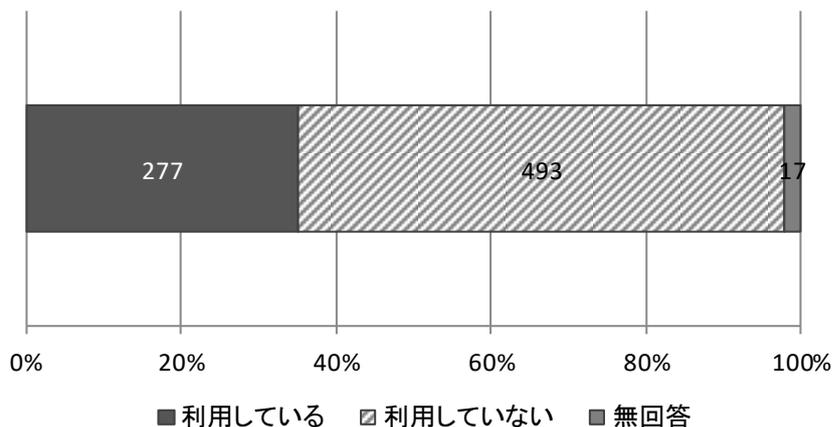
就学児



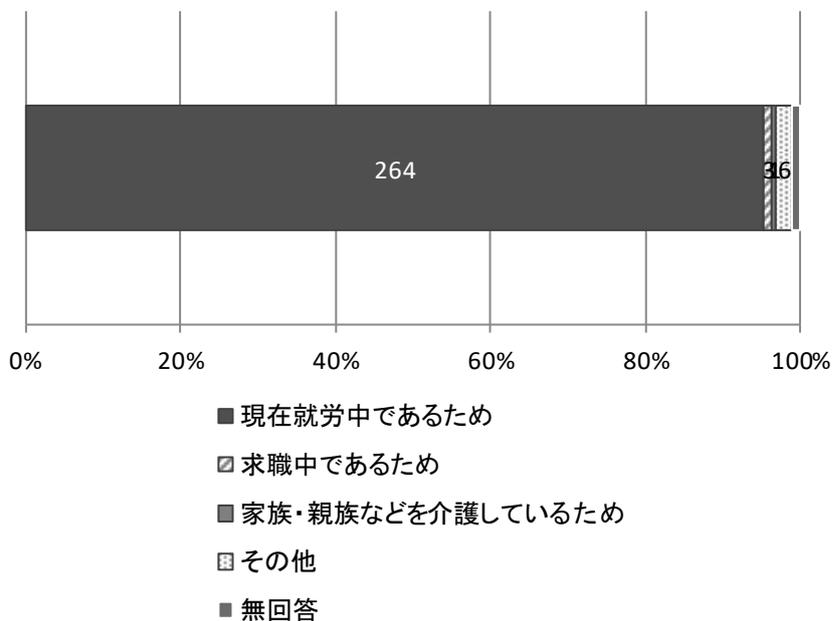
子育て環境に関する満足度は、未就学児、就学児とも5段階評価で「3」が最も多い。平均は、未就学児が2.83、就学児が2.65と、未就学児がやや高くなっている。

就学児のみ

問 17 宛名のお子さんは、現在放課後児童クラブを利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

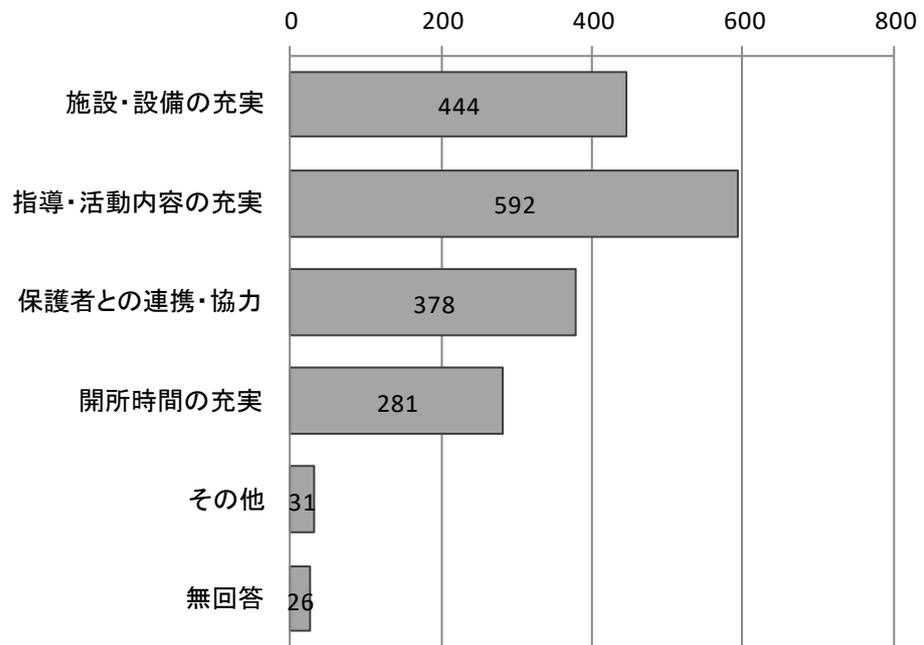


問 17-1 利用されている理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



就学児のうち、放課後児童クラブを利用しているのは約3割。利用している理由は「現在就労中であるため」が多い。

問 18 放課後児童クラブの利用の有無にかかわらず、放課後児童クラブが子どもの健全な育成支援の場となるために望ましいと思われることについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。



放課後児童クラブが、子どもの健全な育成支援の場となるために望ましいと思う施策については、「指導・活動内容の充実」が最も多く、次いで「施設・設備の充実」となっており、3番目に「保護者との連携・協力」となっていることを合わせてみると、施設整備よりも運営内容の充実が期待されている。